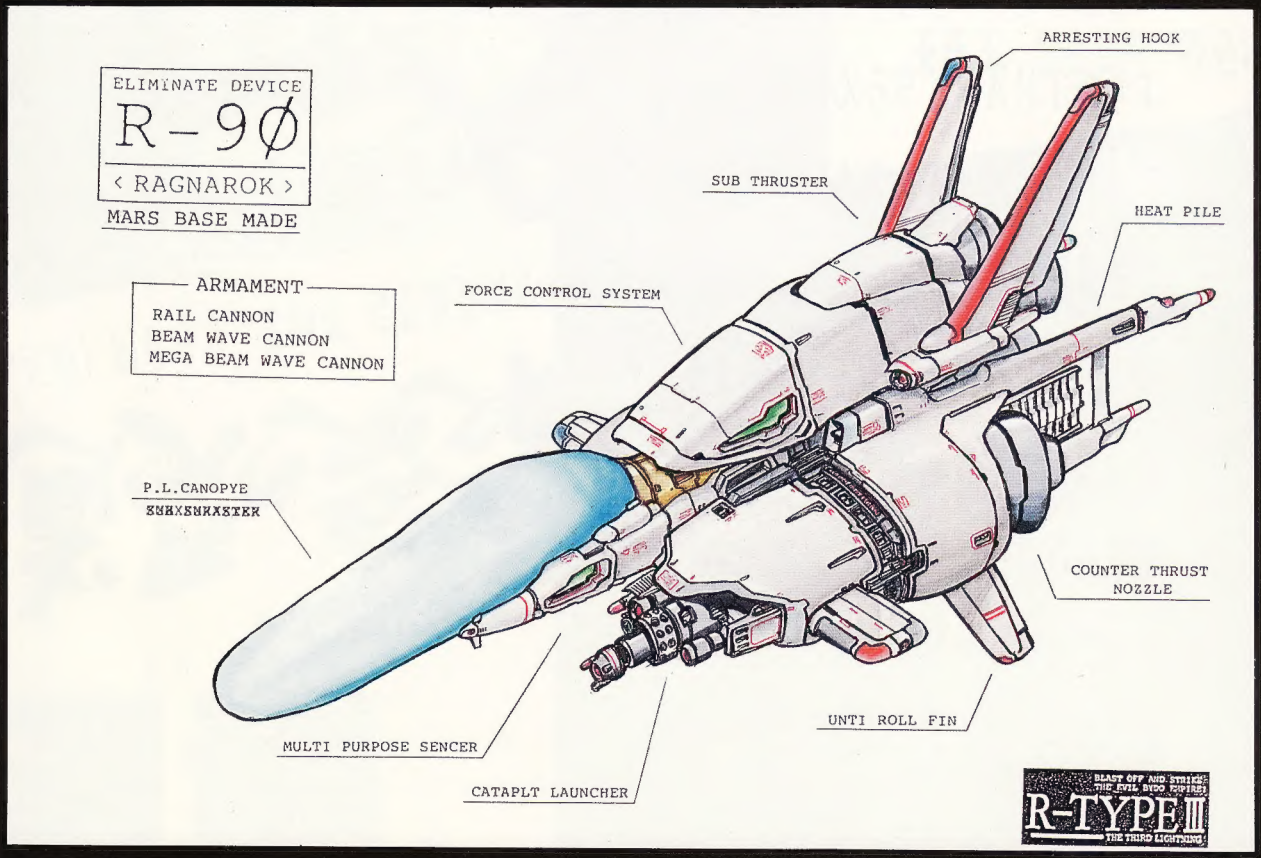
DRAGONFLY

Vol. 19



irem

アール・タイプ3 ザ・サードライトニング®

ELIMINATE DEVICE
R-9Ø
< RAGNAROK >
MARS BASE MADE

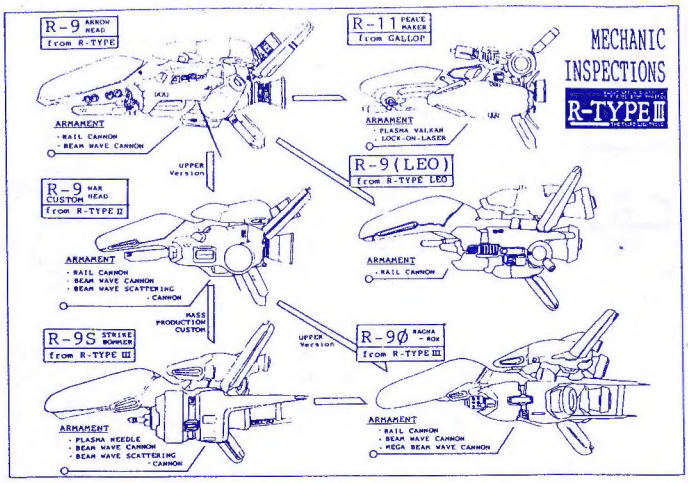
ARMAMENT
RAIL CANNON
BEAM WAVE CANNON
MEGA BEAM WAVE CANNON

ARRESTING HOOK
SUB THRUSTER
HEAT PILE
FORCE CONTROL SYSTEM
P.L.CANOPYE
COUNTER THRUST NOZZLE
UNTI ROLL FIN
MULTI PURPOSE SENCER
CATAPLT LAUNCHER

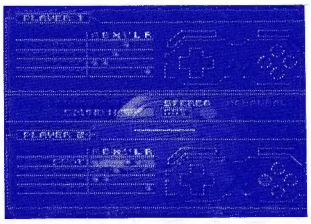
BLAST OFF AND STRIKE THE EVIL BYDO EMPIRE!
R-TYPE III
THE THIRD LIGHTNING

R-9Ø（アールナイン・ゼロと読む。厳密にはアールナイン・スラッシュ・ゼロ）。O（ZERO）は、零、無、もしくはひとにぎり、ほんの少し、そして、丸い形を表す。R-9S（R-9改の量産型）のフレームを流用し、新たに、設計された機体である。機体冷却のため、解放式の可動型セミモノコックアーマーとなっている点が、密閉式モノコックアーマーであったR-9改の機体構造と大きく異なっている。貫通力を優先させた圧搾型波動砲ユニット、新たに、2種類のフォースデバイスを制御可能なコンダクタユニット、さらに最大の特徴であるハイパードライブシステムを装備している。

全国にふたけた位はいて欲しい、アールナインファンのみなさま、これが今度の、アールナイン・ゼロです。今までよりロングノーズで、スレンダーなボディラインがストイックでいいでしょ。決定までにかなり苦しんだそうです。細い体にモノすごい火力を秘め、もうすぐデビュー。…あんまり壊さないでやって下さいね。



＊キャノピーの引きだし線の下、パイロットネームが消してあるあたり、結構、コシャクでしょ。理由は取扱説明書に書いといたから、買って読むように。（宣伝）



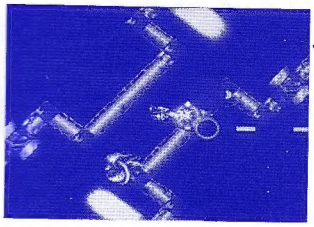
コンフィグ画面。不気味なまでのインオーガニックな構成が、激！イカス。

表紙のヨトバ
上のイラストに色がついたのが表紙である。低明度疑似空間迷彩に、赤でマーキング。ラグナロクは、ＦＣＳの開発コード名。

この２ページが、DRAGON FRYのなかで一番オモくてカタいんだろうなあ。別にいいけど。

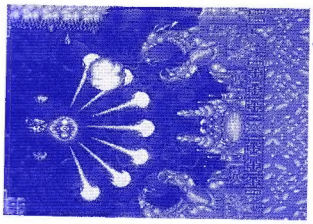
R-TYPE

それは、未来から来た最悪の因果律。
しずかに眠る戦士たちの追憶。



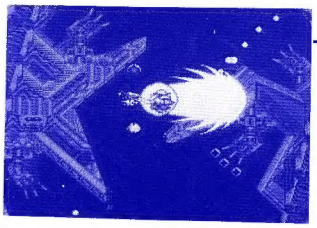
次元カタパルト

今、空間はグリリ！と回る。1面。SFCマジック、オンパレード。



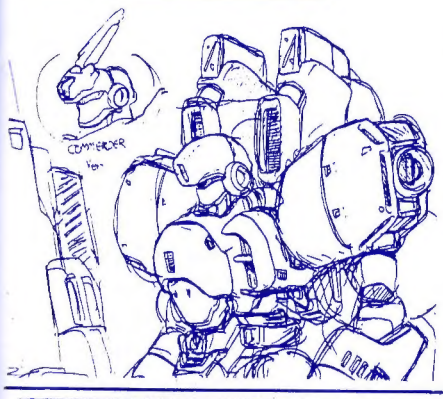
アシド・クリーチャー

放射性消化液の滴る中、闇を穿つ光が飛び散る。ハイパードライブ。



重金属回廊

STAGE 3。圧倒的なエネルギーの奔流が、重金属の回廊を貫く。



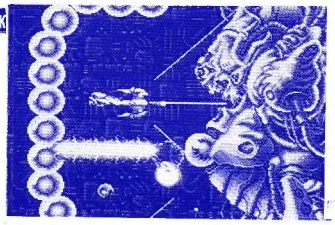
ステージ1のお約束♡、波動砲を撃つロボットも健在。しかも、今度は3体、隊長機まで登場。排莢は、もう当然だ！

1.

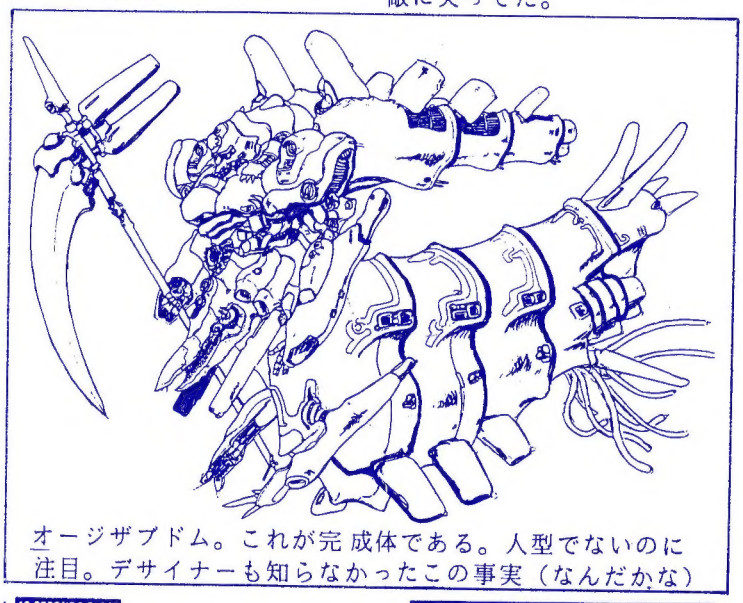
すべてはここから始まった。何百回と見た、印象的なショットのハズである。
VSドブゲラドブス。

R-9 TO THE FRONT (START) ~ COUNTERATTACK

2.



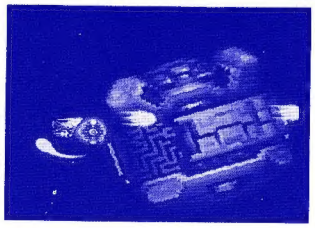
Ⅱのヤツなら、3秒でケリがつく。仮面の下で、奴は不敵に笑ってた。



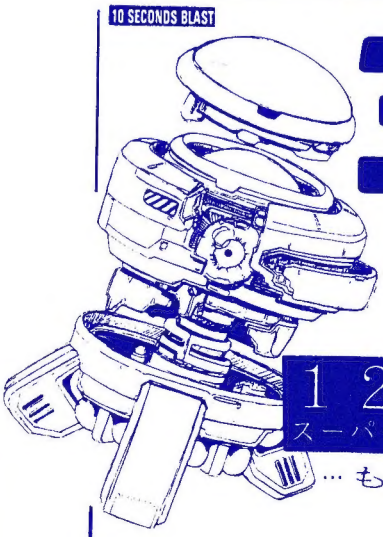
オージザブドム。これが完成体である。人型でないのに注目。デザイナーも知らなかったこの事実（なんだかな）

10 SECONDS BLAST

3.



そしてこれ、Ⅲの1BOSS、ガドレイ。絶対！驚く。でも、大丈夫。最終面のザコより弱い。…耐久力だけは。



…ヤッスニ、ケダモノ。

be anything from a rape to a really bad dose of thrush. Because of the memory of what has happened, these women also experience a violent and involuntary muscle spasm whenever intercourse is attempted.

TREATMENT

Don't try to e... outdated ... now been replaced by a technique which is ... together at Family ... and also at clinics specializing in sex therapy.

Learning to relax, under the tuition of a woman doctor or therapist, may take anything from a week to several years but usually works very well in the end.

DEAD END

BYE² BYDE。

12月！攻撃開始！

スーパーファミコンソフト（予）¥9800

…もうすぐ、見れる。

BLAST OFF AND STRIKE
THE EVIL BYDO EMPIRE!

FREE PLAY

DRAGONFLY
1'ST OPTION
R-TYPE
ILLEGAL MISSION

© 1991 IREM CORP.

DRAGONFLY 1'ST OPTION

R-TYPE

ILLEGAL MISSION

CONTENTS

R－9 IN ACTION

RED ZONE FIGHTER

FROM BEYOND

OVER THE DEAD LINE

TARGETS!

SOMETHING IN THE UNKNOMNSPEACE

INTER MISSITION

DON´T SAY "GOOD BYE" GO NEXT!!

まけるもんか。

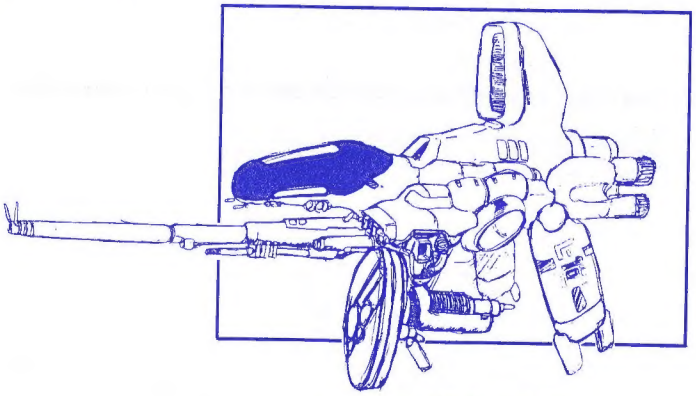
3

ACT 1

DRAGONFLY
1'ST OPTION
R-TYPE
ILLEGAL MISSION

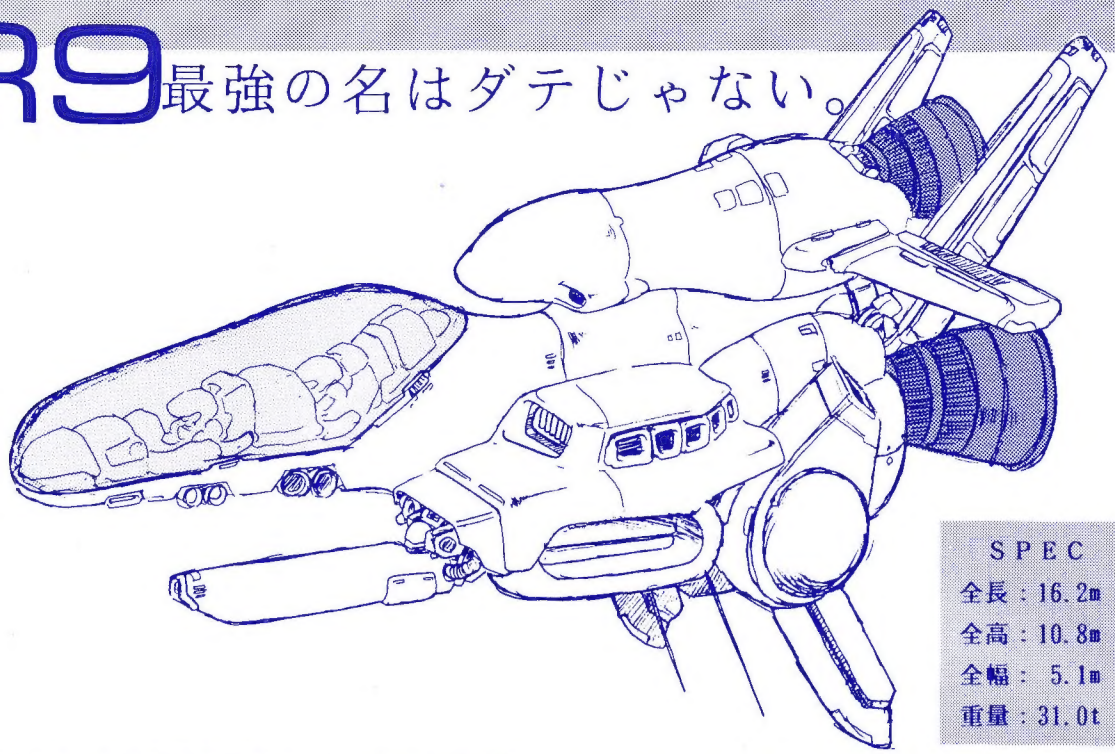
R－9 IN ACTION

RED ZONE FIGHTER



エーテルの波をこえて
星の海を渡っていこう
そこにはあきれるほどの
まだ見たことのないものが
ちらばっているはずさ
光を追い越し
時間を翔んで
いつまでも
どこまでも

R9最強の名はダテじゃない。

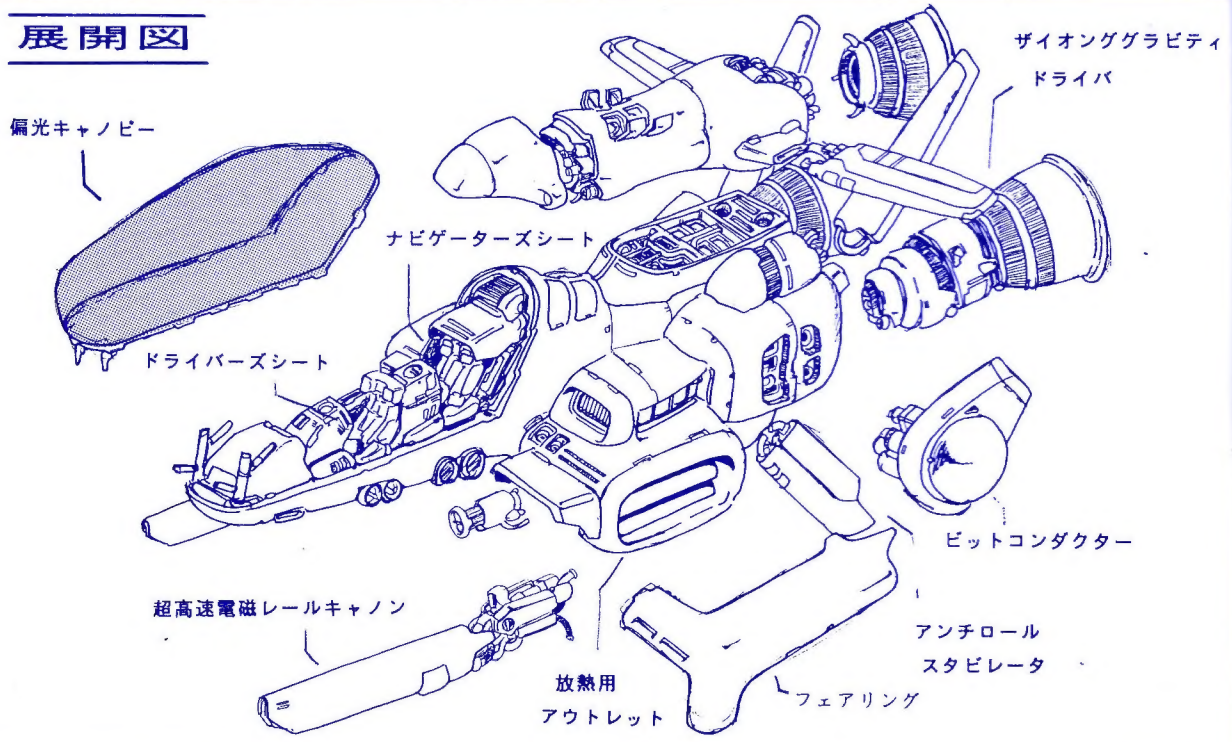


SPEC
全長：16.2m
全高：10.8m
全幅： 5.1m
重量：31.0t

Rシリーズは元来、空間汎用作業艇だった。さかのぼればMMU（有人機動ユニット）に突き当たる。R－1から始まったRシリーズはその頭文字となったラウンドキャノピーによる良好な視界と、作業艇ならではの高出力、信頼性の高さにより様々なバリエーションを生み、対バイドミッションまでにはその設計思想を受け継ぎR－5をかぞえるまで進化していた。異次元という人類にとっては未知の領域に存在するというバイド殲滅用も戦闘機ではなく汎用機であるR－シリーズが選ばれたのは上記の理由からである。

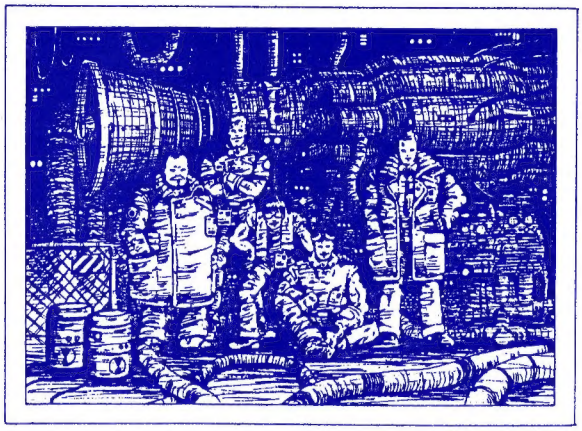
その開発は、考え得る全ての状況に対応できるサバイバビリティの追及と、R－シリーズの設計思想の特長でもあったオプションユニットによる機能拡大性おいて、単体にして戦艦並みの火力を持つ”波動砲”ユニットと人類における唯一の次元兵装”フォース”コントロールデバイスの付加に重点をおいて行われた。（悲劇の）テスト機R－7を経てR－9がロールアウトしたのは２２３５年のことであった。

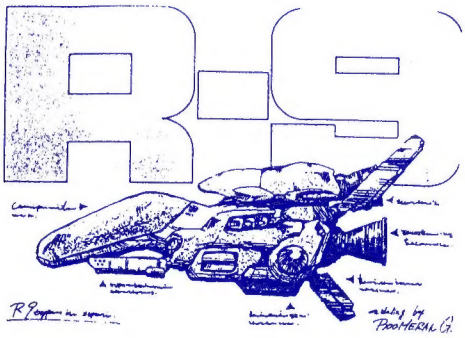
展開図

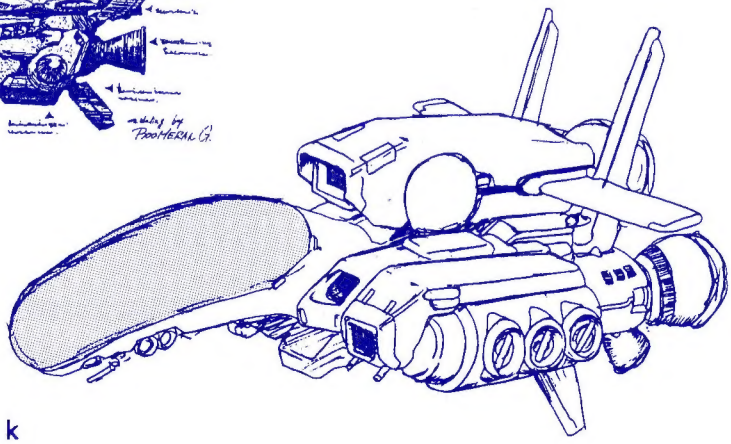


2043	▶宇宙空間機動計画 機体開発プロジェクト発足 計画名「RX－プロジェクト」プロジェクトリーダーは ジム・クライアント博士
47	▶汎用作業機械にR－エンジン3型TYPE－3を搭載 高出力慣性制御に問題
50	▶推測停止プログラムを変更 12個の機体安定用ロケットモーターを16個に増設し搭載 RX－T1通称スケルトンが完成 その名の通りこの機体はテスト用のため外部装甲は無く まったく粗末なものであった
53	▶RX－T1を改良 外装を追加 実用化テストのため日本の宇宙ステーション「さくら」に試験導入
57	▶RX－T1実用化 正式名称R－1a 名称の頭文字"R"はキャノピーの形状（ラウンド）とプロジェクト名から引き継ぎ結々された
68	▶新規格のRX－T2の開発に着手
89	▶R－1は様々なマイナーチェンジによりR－1a～R－1jまで作成された
92	▶MMU（有人機動ユニット）の基礎技術統一規格化にともないR－1シリーズの製造を中止
93	▶R－2（RX－T2ベース）シリーズ実用化 規格化によりMMU一般化する
2109	▶R－エンジン双発化（RW－3型エンジンTYPE－1）のため R－2シリーズはR－2dまでまで製造されR－3シリーズに継承される（ユニットはMMU規格により互換性あり）
12	▶R－3シリーズ実用化 双発エンジンにより高機動化を実現
24	▶R－ユニットの掘削作業用低出力力場解放型波動砲の開発に着手
31	▶新理論に基づき開発作業が進められていた 異層次元探査艇がロールアウト
35	▶異層次元探査艇「フォアランナ」超長距離航行に出航 予定帰還は2175年6月27日
40	▶R－エンジンを小型化し外装内におさめる事に成功 低出力小型エンジン（RS－3型エンジンE－UNIT）完成
45	▶E－UNIT装備のR－4シリーズ実用化
51	▶低出力力場解放型波動砲完成 特殊作業艇R－5シリーズの開発に着手
59	▶フォアランナ航行座標からの特種生体エネルギー反応をキャッチ 異層次元でエネルギーの増殖を確認
66	▶低出力波動砲アステロイドバスター装備のR－5シリーズ実用化（波動砲標準装備のため基本的には一般への供給はされなかった）
75	▶異層次元探査艇「フォアランナ」超束積高エネルギー生命体"バイドの切れ端"を採取し帰還する
76	▶対バイドミッション発令 対バイド兵器は選考の結果 Rシリーズに決定した
78	▶Rシリーズ兵器開発のため汎用型の製造はR－5fで中止となる
80	▶高出力波動砲装備の無人テスト機（RX－6）開発に着手
84	▶超束積高エネルギー生命体兵器化計画立案 木星の研究施設で開発が進められる事になった
89	▶従来の波動砲に力場解放ブーストを追加したRX－6がテストに入る
91	▶テストの結果 力場解放ブーストにエネルギーを供給する瞬間 力場に高負荷がかかりエネルギーのベクトルが不安定になる事が判明 レギューターを追加
93	▶木星ラボからの通信が途絶える 探査艇「スカイホープ」が調査した結果 直径6mの高エネルギー体"バイドの切れ端"を中心にラボを含む空間が半径3万mに亙り消失しているのを発見 エネルギー体を採取し帰還する
98	▶高出力波動砲装備有人テスト機R－7ロールアウト
2205	▶超束積高エネルギー生命体の制御に成功（フォース）
07	▶有人機R－7（パイロット ミコヤン・グレコビッチ大佐）によるフォースの実用化試験に失敗 フォースを後方に装着し波動砲を使用した所 力場安定用レギュレーターが異常加熱 エネルギーの蓄積座標が後方に引っぱられ 閃光と ともにR－7は蒸発してしまった エンジンがE－UNITだったために回避するのには出力不足だったのである フォースは無傷で回収された
08	▶人工フォースの開発に着手
16	▶R－エンジン3型TYPE－4を3基 及びE－UNITを2基搭載した無人機RX－8完成
23	▶RX－8波動砲テスト良好 フォースの実用化試験完了
25	▶RX－8の有人実用化（R－9）の開発が決定
27	▶高出力力場解放型波動砲完成 R－5シリーズの波動砲から61年たち最終的に算出された出力データは低出力波動砲の5，7倍にもなった
30	▶エネルギー生命体の人工的実体化に不安定ながらも成功
35	▶低出力波動砲装備高機動巡回機"R－9"ロールアウト この後 対バイド戦には高出力波動砲を装備しザイオング慣性制御システムを搭載 武装強化したR－9が使用された

フューチャーパブリケーション発行「R's History」より抜粋





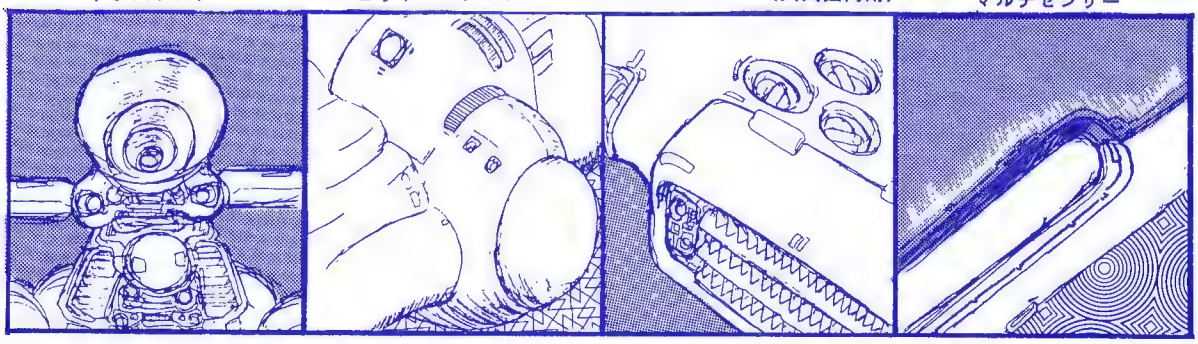


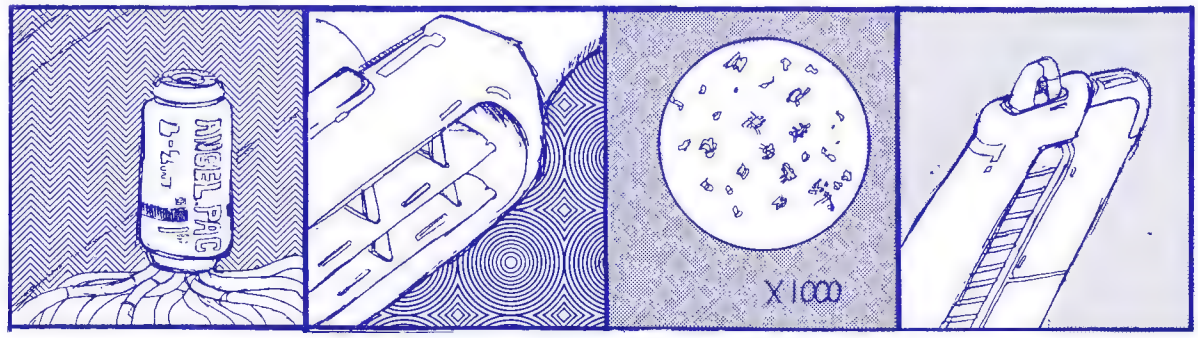
R－9k
R－9のマイナー
チェンジバージョン

R9 custom つきぬける最強。

SPEC
全長：13.5m
全高：9.2m
全幅：4.2m
重量：22.0t

サブスラスター　ビットコンダクター　エアインテーク（大気圏内用）　マルチセンサー





パイロットユニット　放熱アウトレット　マイクロマシン　バーニアアーム

似て非なるもの

急ごしらえのR－9と違い、R－9カスタムは始めから異層次元戦闘艇として開発が進められた。その結果ロールアウトした機体は、作業艇と戦闘艇といった違いにとどまらず形こそ似ているものの、その突き抜けたポテンシャルと破壊力はまさに化け物と呼べる代物であった。

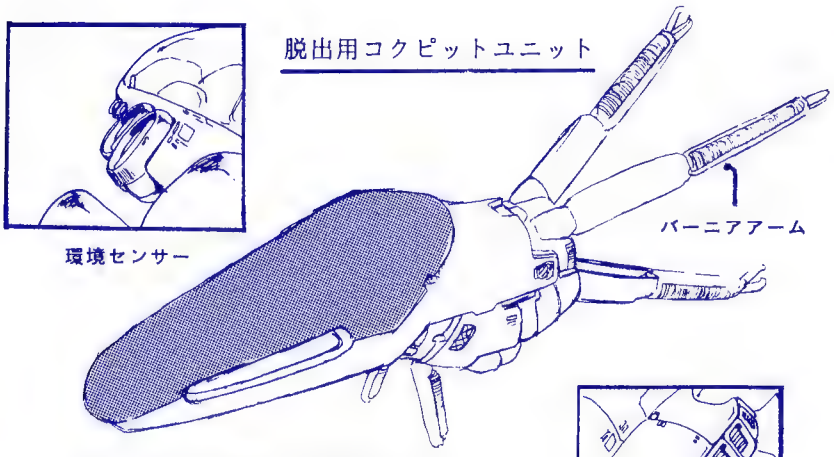
全自動工房で生産されたR－9と異なり、R－9カスタムは技術職人の手による手作りで、ほとんどワンオフモデルの精密さと完成度を備え、それゆえ3機しか製造されなかった。

R－9カスタムは、シンボルとしてのRシリーズの形状を残しつつも、一回り小さな機体となっている。
第一次バイドミッションの戦闘データを基にアビオニクス系が強化され、FCSも最新の学習型に換装、ジュネレーターの高出力化にともない、拡散波動砲を始めとする4つの新兵装を備えるに至った。それはパイロット1名での運用を可能にし、コクピットスペースの余剰分に器材を搭載することによって、実現したものである。

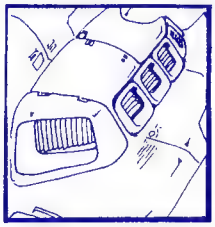
更にライフサポートシステムの高密度化と装甲キャノピー、脱出用分離式コクピットシェルによってパイロットの生還率は格段に上げられた。（しかしこれは戦闘データ回収を第一目的としたものであり、パイロットは四枝を除去され、ダイレクトリンクシステムに直結した生体コンピュータユニットとして組込まれていたのが実際であった。無論これは極秘事項である）

機体内への異物の侵入を防ぐ為、外装のシームレス化とユニットのパッケージ化が進められ、それに伴ってメンテナンス性は向上し、ユニット毎の信頼性も高まった。更に初歩的なものにしか過ぎないが、有機生体部品による自己修復機能も付加されている。
小型・軽量化・シームレス化を可能にできたのは、外装材に爆発成型による繊維強化焼結樹脂部品を多用できたことによる。

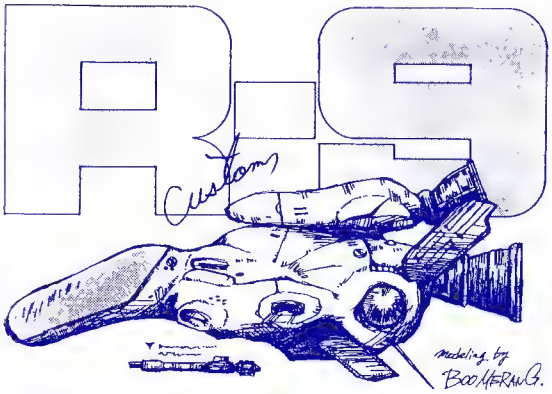
カラーリングは、ハードフラットのチタニウムホワイトで、装甲キャノピーはウルトラマリン。

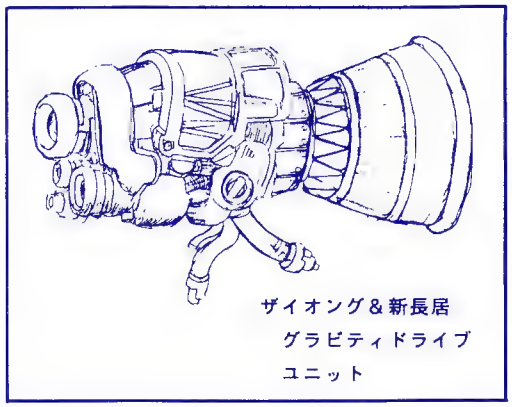


R－9カスタムはデータ回収のためにコクピットユニットがそのまま脱出用カプセルになるように設計されている。人工冬眠装置を備え、ある程度の機動が可能なように推進機も取り付けられている。



マイクロバーニア



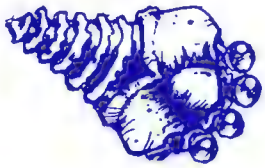
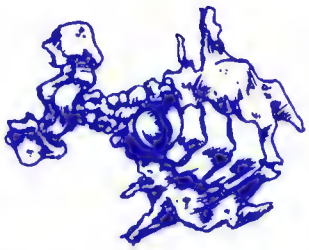


ザイオング＆新長居
グラビティドライブ
ユニット

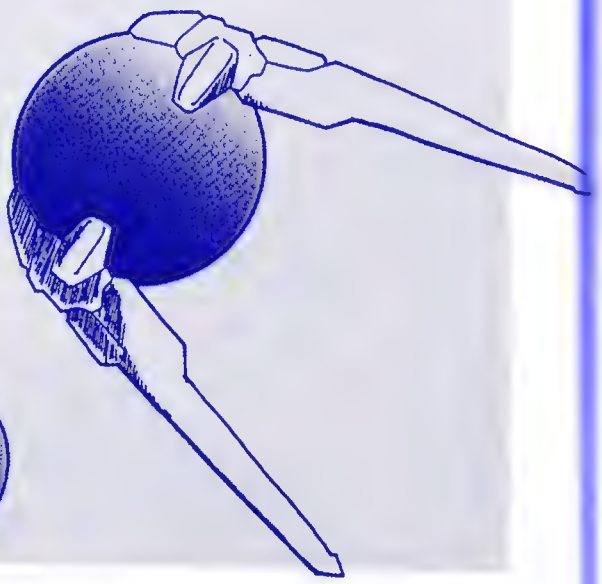
“フォース”成長過程

FORCE

採集してきた“バイドの切れ端”である。
生物の様でもあり、鉱物の様でもある。

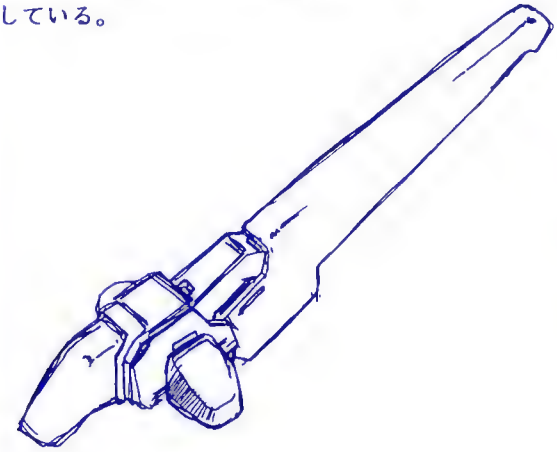
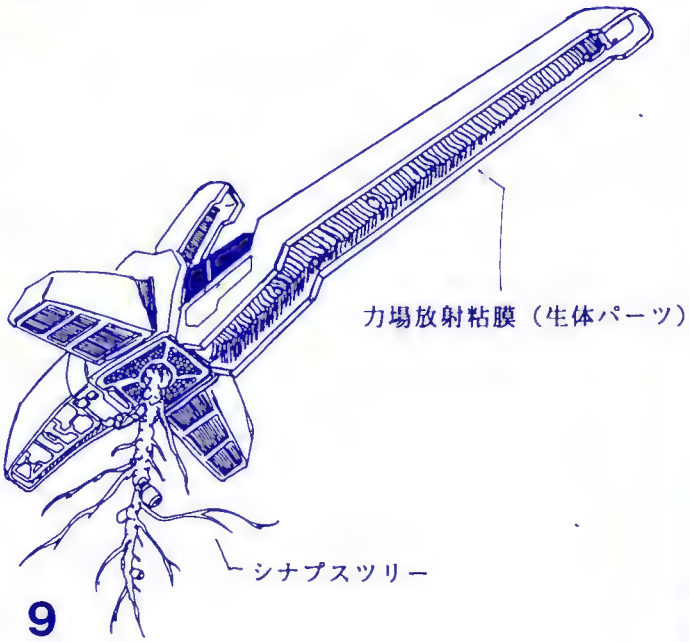



ある種のエネルギーを食べさせることによって、3段階の形態変化をする。さらに触媒としての機能もあり、それを通すことによって、注入したエネルギーを別の形態へと変化させることができた。対バイドミッションに使われたのは、これより純粋なエネルギーだけを抜き出して、球状に集束させ、コントロールロッドで押さえこんだものである。“フォース”の名には物理的な「力」と、精神的な「理力」の意味が込められている。



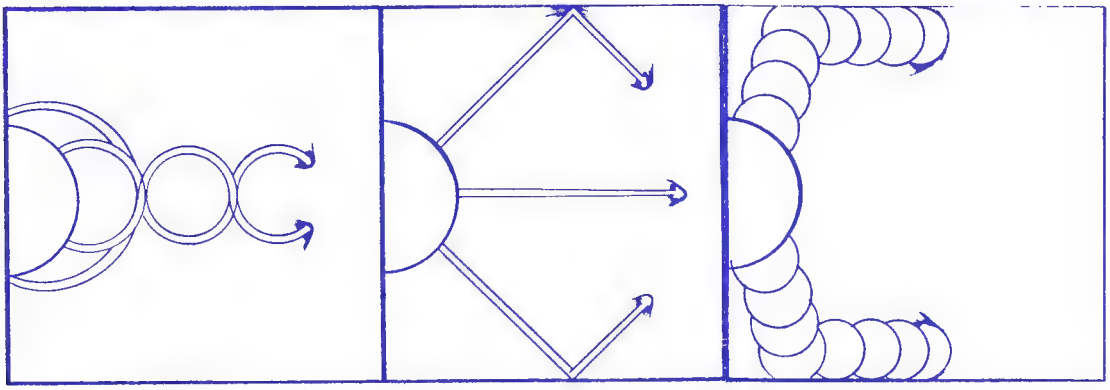
フォースコントロールロッド

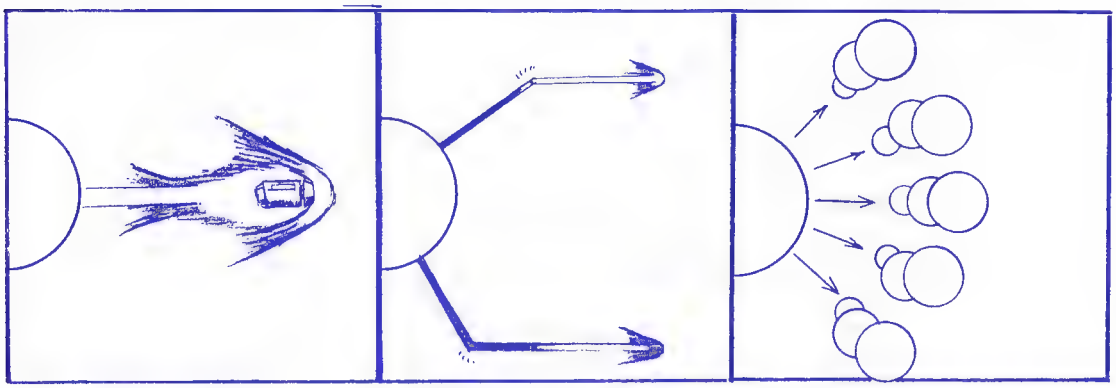
これを4対打ち込んでフォースをコントロールする。
4対のロッドは、その下面よりのびる　シナプスツリーにより、それぞれがエネルギー体内で有機結合している。

フォースのもつ多種のエネルギー形成体をR－9のコンバーターで変換、加工し、一定のベクトルをもたせて射出することにより、有効な攻撃手段とすることができる。現在、実用化されているのは6種類。

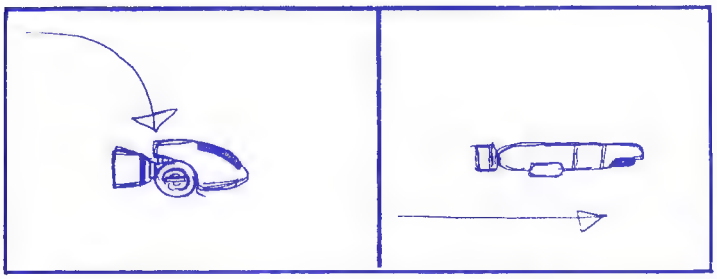
高密度集束光条体　連続変化プリズム型光条体　対物追従型連続光弾体



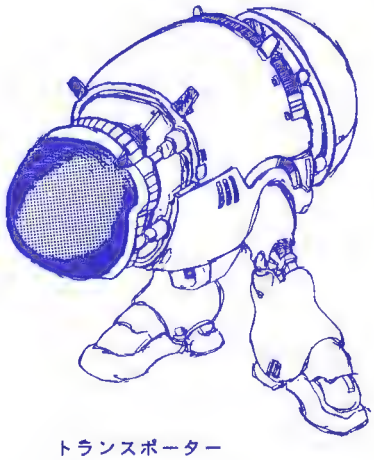


凝縮波動弾体　高速追跡型ＭＭ弾体　拡散型高密度光弾体

※M.M-マイクロマシン



グレネイド　ナパーム　ヒートシーキングミサイル



トランスポーター
"Ｐｏｗアーマー"

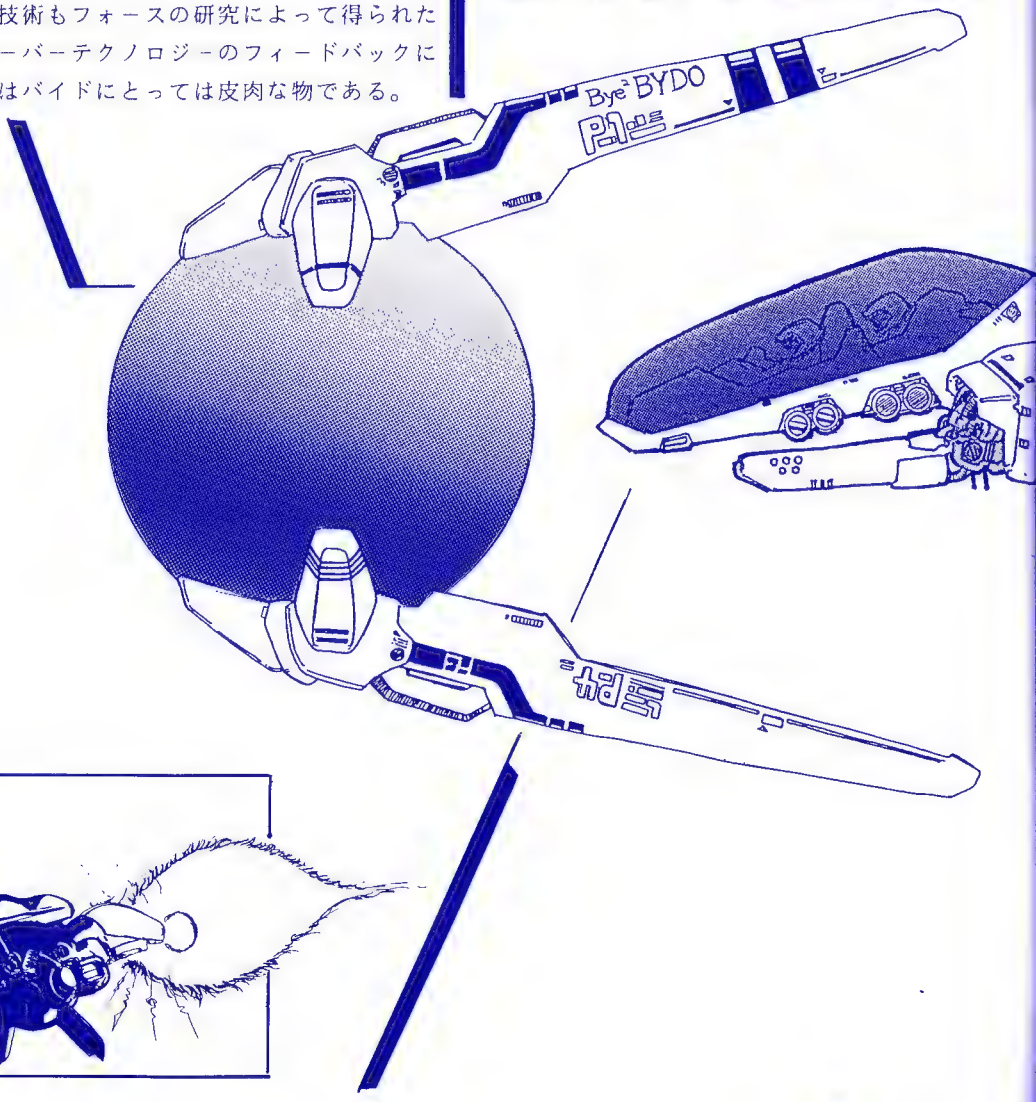
フォース

探査艇が持ち帰った、”バイドの切れ端“。
それを加工し封じ込めたのがフォースである。

木星のラボを空間ごと吹き飛ばしたその力を制御する為に、地球文明圏最高の頭脳が結集した。

全てのエネルギーを吸収し、増幅する力を持った生き物このフォースを成長させ、4対の独立したコントロールロッドを打ち込み、特殊な磁場によって押さえ込んで、自らの兵器としてしまった地球文明圏の科学技術は驚嘆に値するが、この制御技術もフォースの研究によって得られた地球外生命体のオーバーテクノロジーのフィードバックによるものだったのはバイドにとっては皮肉な物である。

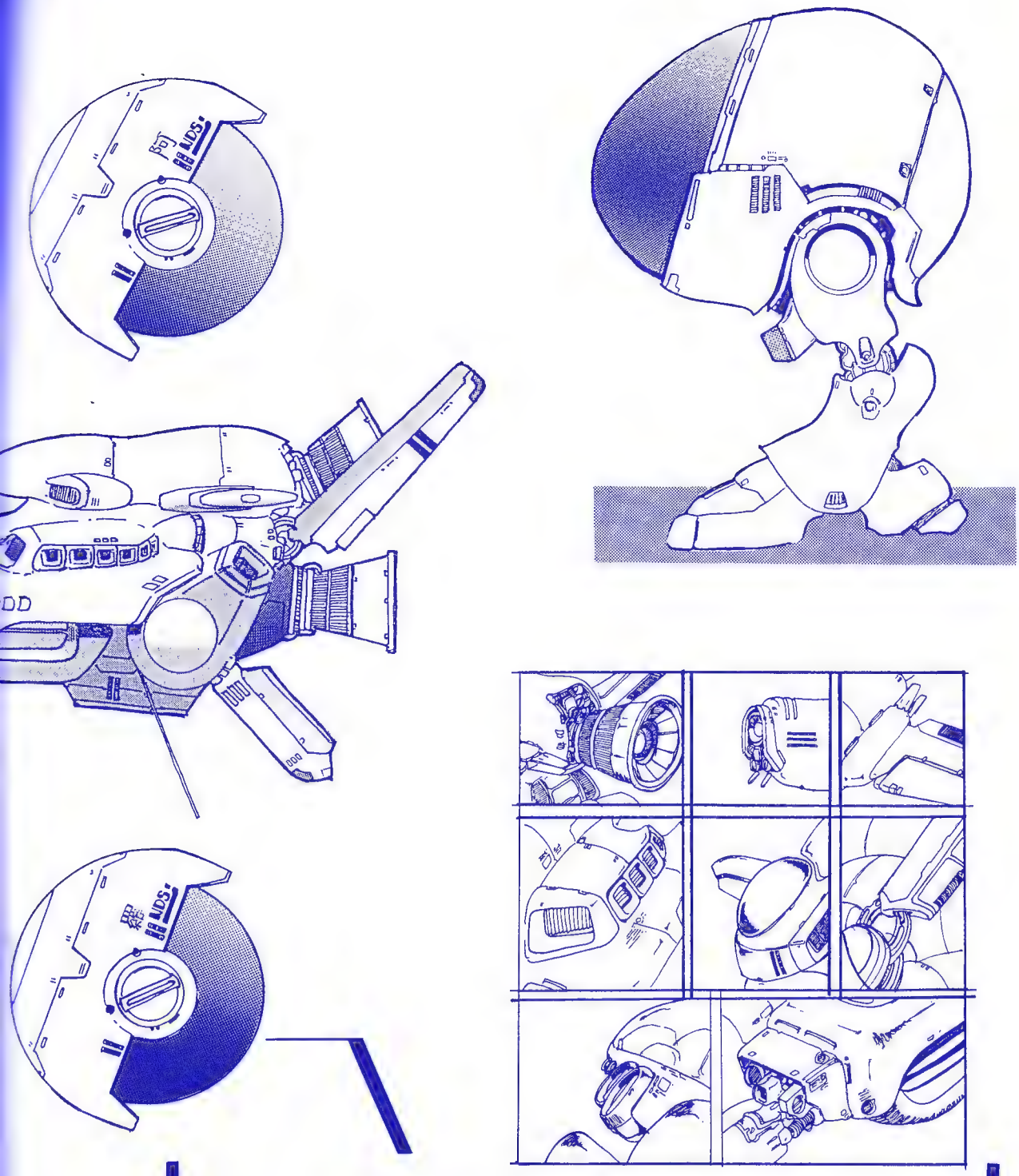
R·9 SYSTEMS



波動砲

R－9に戦艦の主砲クラスの火力を持たせることを念頭に置いて開発された。
R－9機種前方に置いて、力場を発生させ、その中にエネルギーを蓄積し、一気に力場を解いて、ベクトルを持たせたエネルギーを解放するのが、その概念である。R－9に物理的な波動砲射出口がないのはこのためである。

前身であるR－5では、いくつかあるオプションユニットの一つのアステロイドバスターに過ぎかったが、フォースの研究によって持たらされたオーバーテクノロジーによってその威力は数倍に高められ、テスト機のR－7を経て、R－9には標準兵装として組み込まれた。



ビット

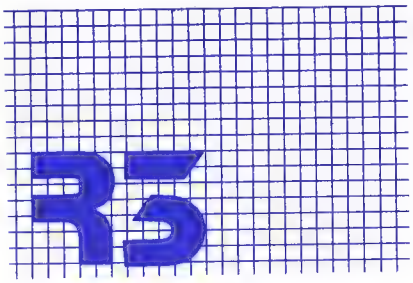
人の手による“フォース”の創造を目指して開発されたものである。しかしエネルギー生命体を集束、実体化させ、敵エネルギー体に対しての防御機能を持たせた時点で、タイムアウトとなり、R－9と共に異次元へ送り出されることになった。

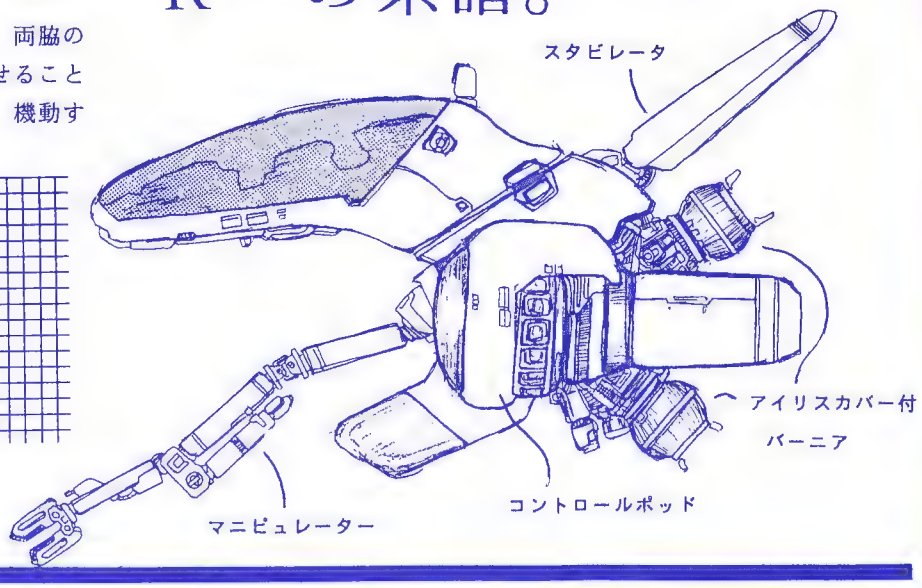
対空（ホリゾント）レーザー使用時のみ、その余剰エネルギー分によって積極的な攻撃手段となり得るが、基本的には近接防衛システムの域を出るものではない。

構造的に多分に不安定なため、常に“人工”フォースの周りにはその側面積の半分にも達する制御殻が回転している。

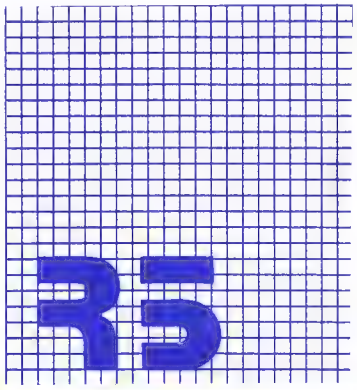
“R”の系譜。

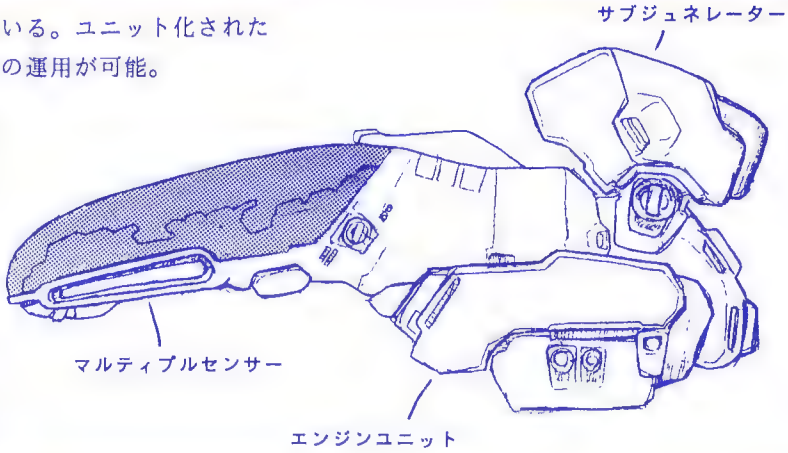
2対のマニュピレータを備え、両脇のコントロールポッドを可動させることによって、重心移動を行ない、機動する。



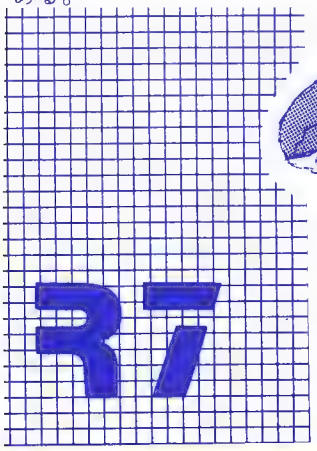


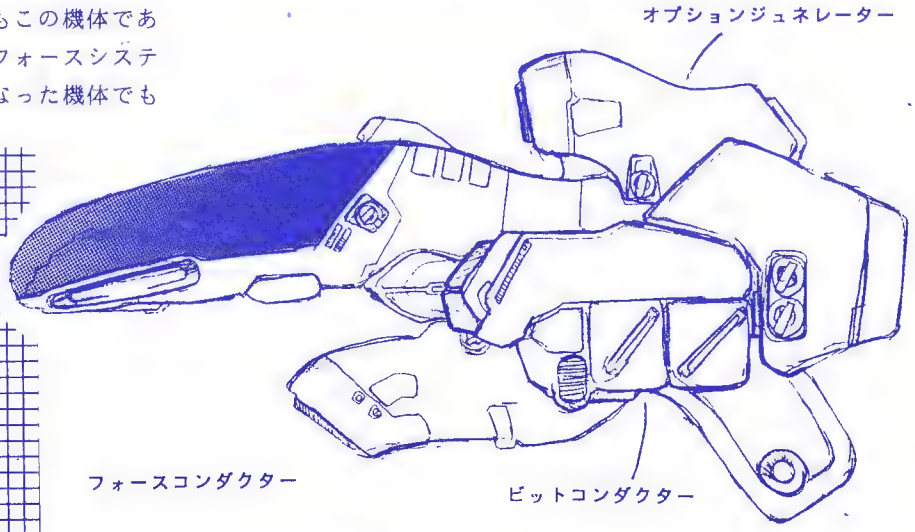
宇宙のタグボートとして使われている。ユニット化されたオプションにより、色々な局面での運用が可能。



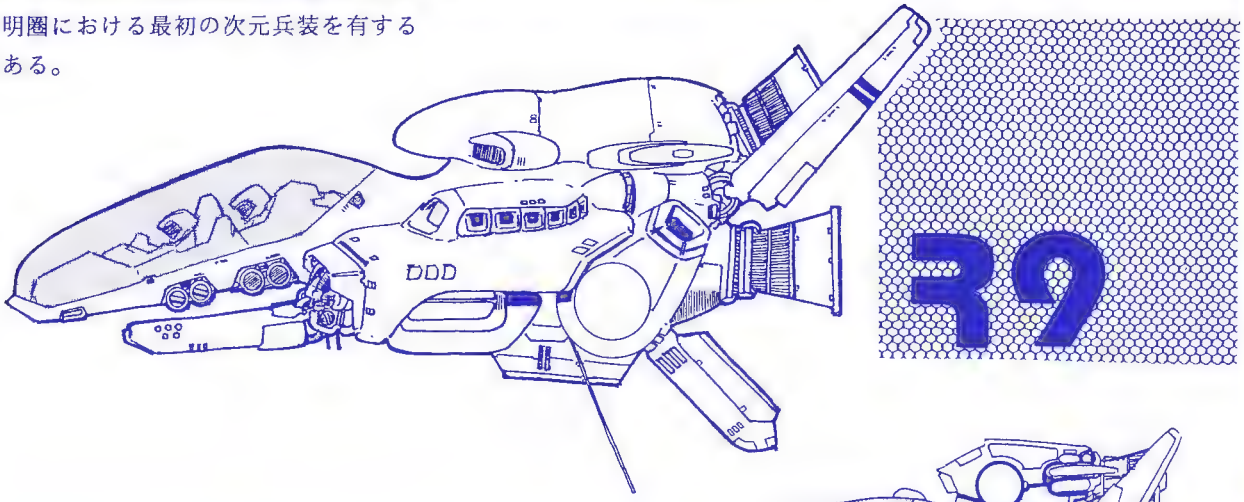


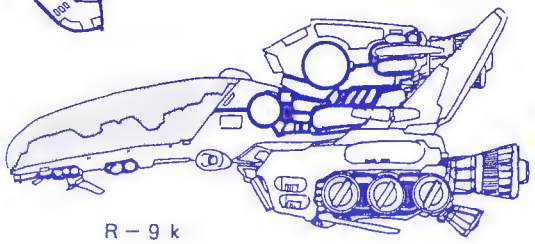
R－5のバージョンアップ版である。異次元空間へ飛んだのもこの機体であり、波動砲ユニット、フォースシステム等のテストベッドとなった機体でもある。





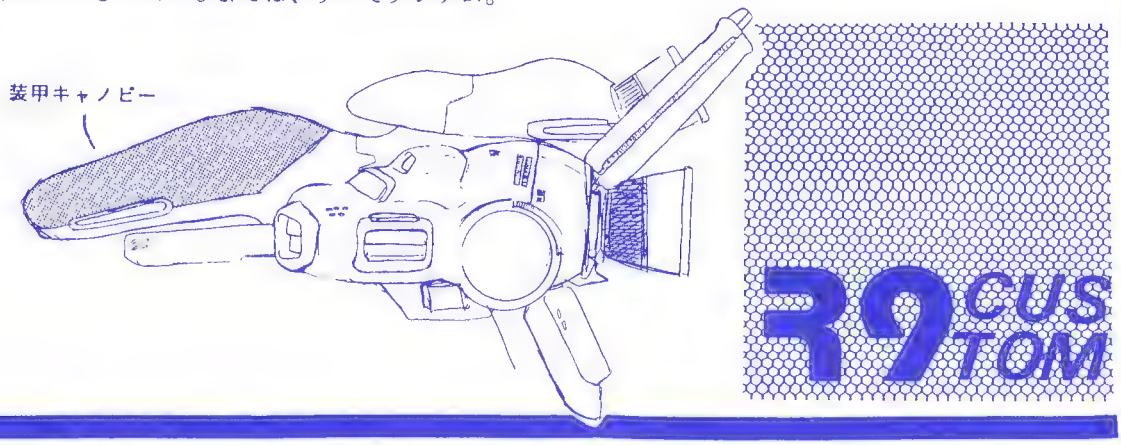
対バイドミッションに使用された機体である。
地球文明圏における最初の次元兵装を有する
機体である。



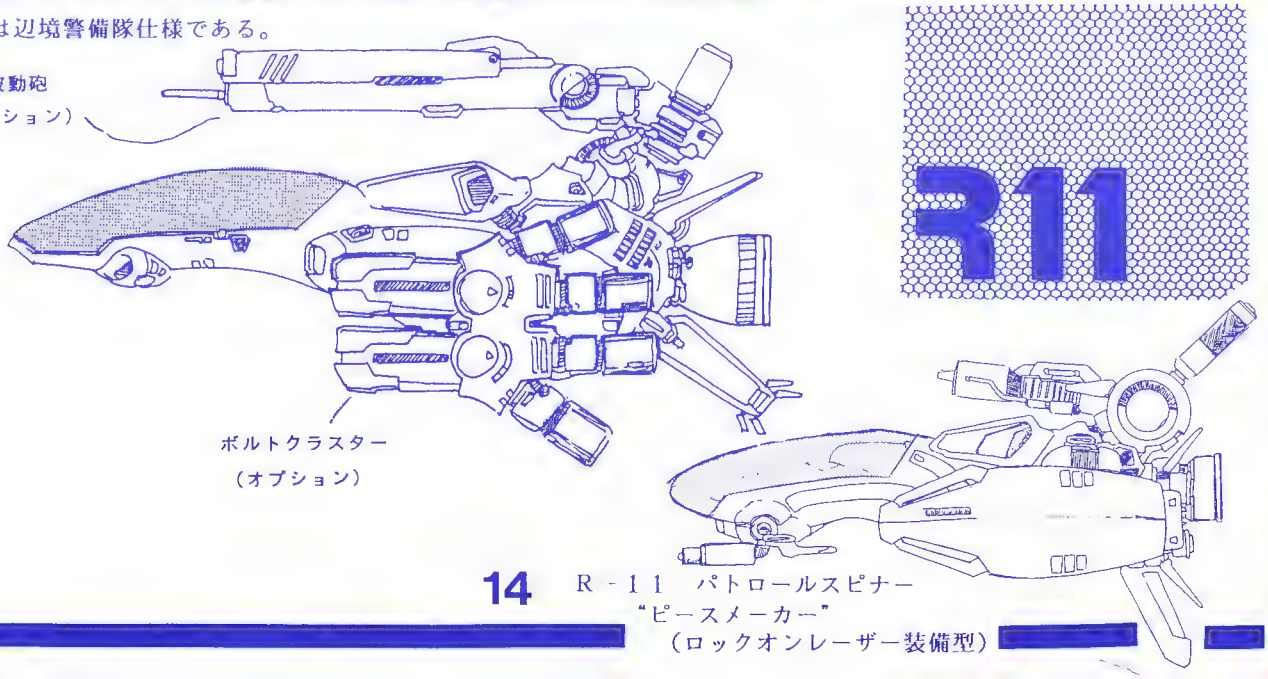


R－9k

バイド戦のデータをもとに、建造されたカスタムタイプである。
純粋に戦闘用。１人乗り（実はパッケージ化されたパイロット
ユニット）。ちなみにR－３～R－９までは、すべてタンデム。

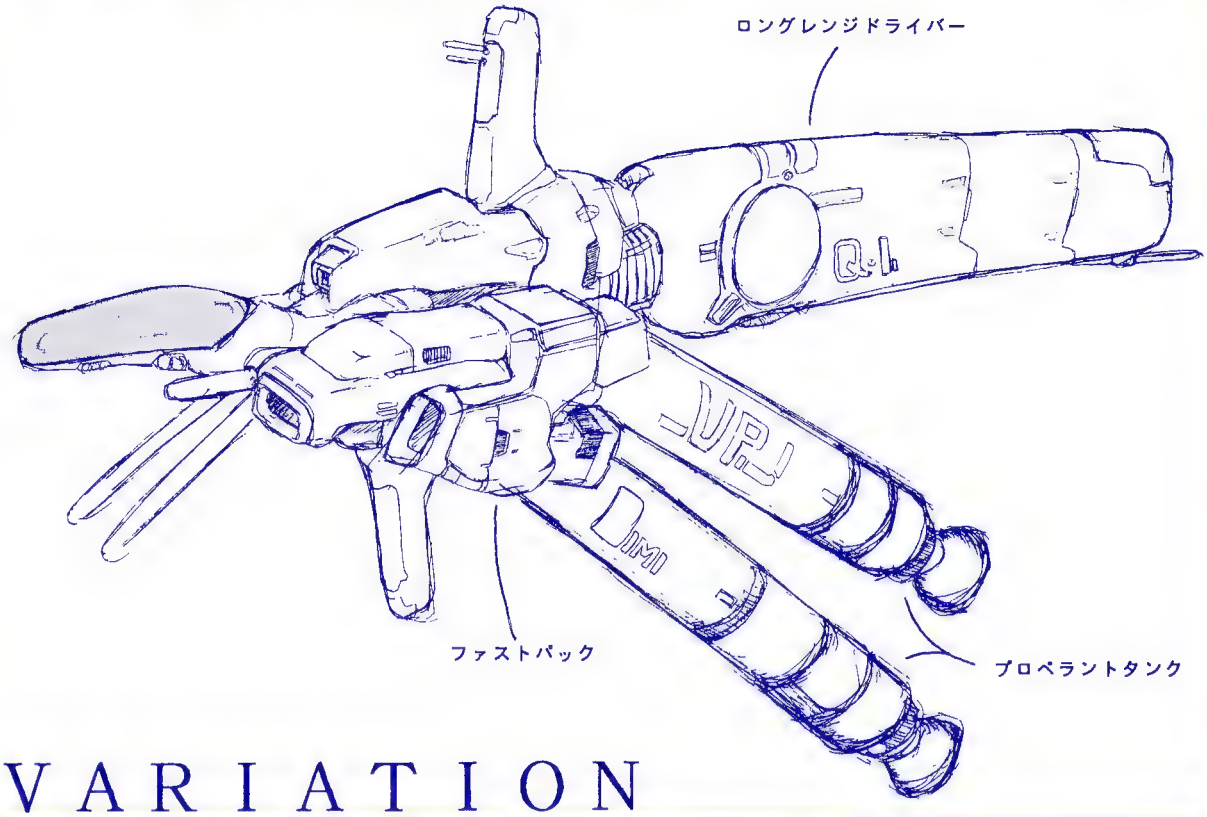


R－９のデータをもとに、量産ラインにのった最後のR－シリーズである。
これは辺境警備隊仕様である。



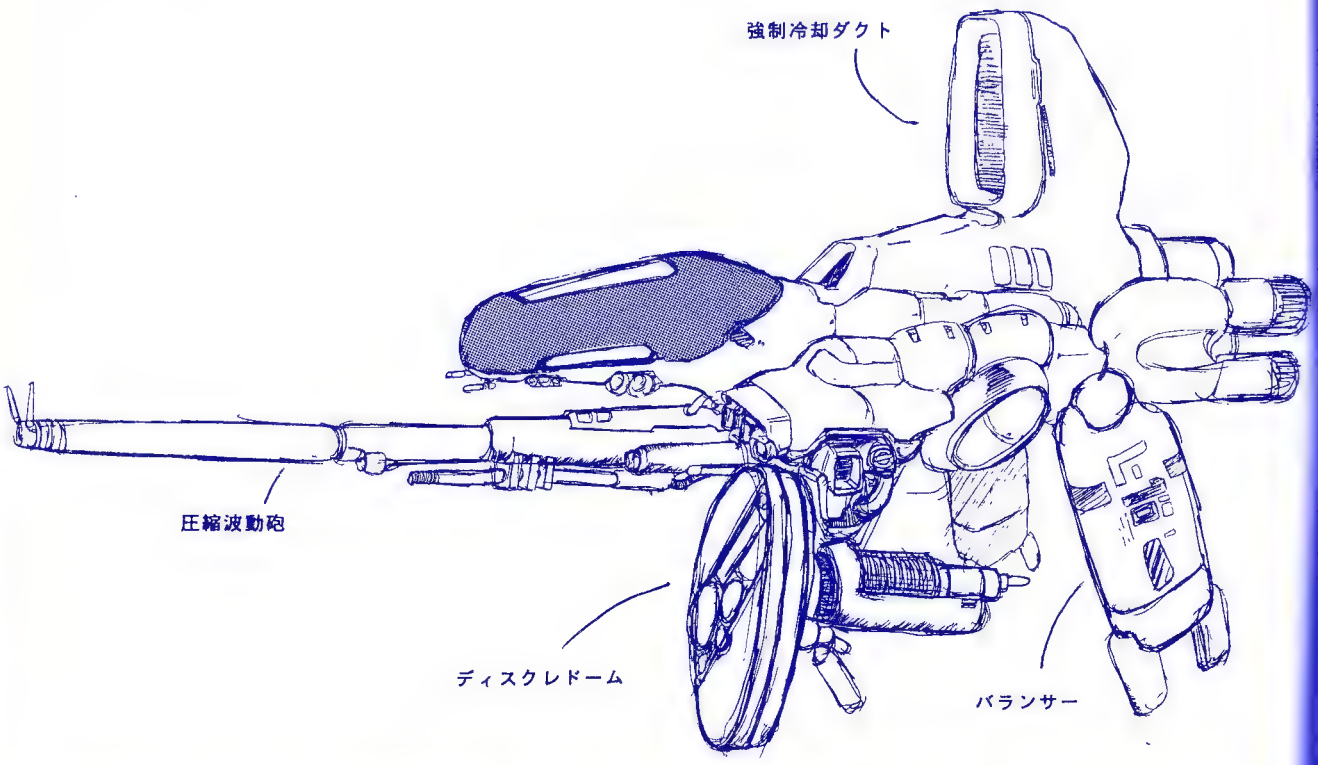
R－11　パトロールスピナー
“ピースメーカー”
（ロックオンレーザー装備型）

R－9.　中～長距離巡行ユニット装備型

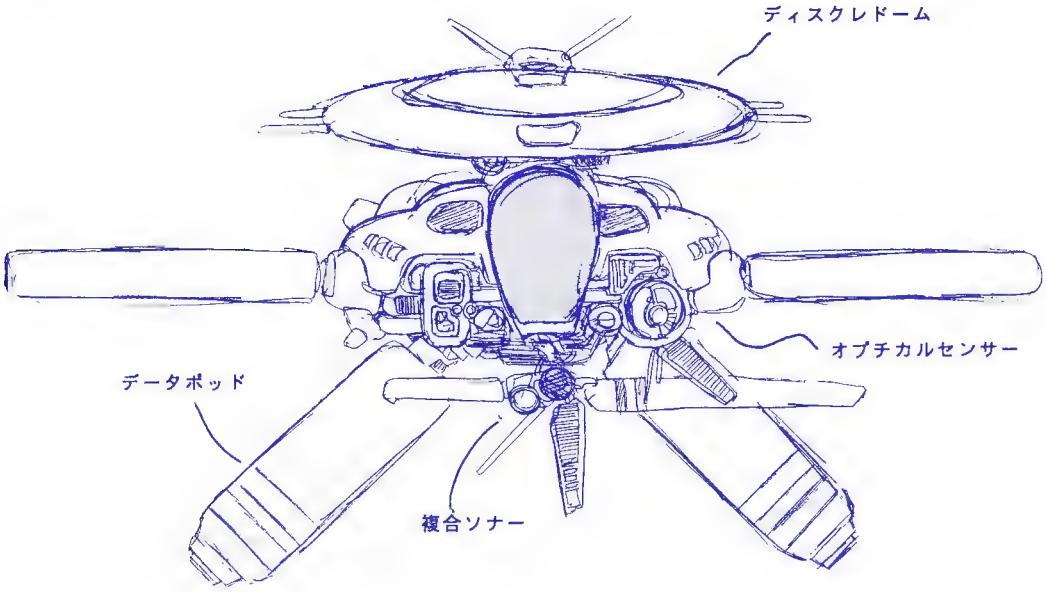


VARIATION

R－9.　長距離精密射撃用ユニット装備型

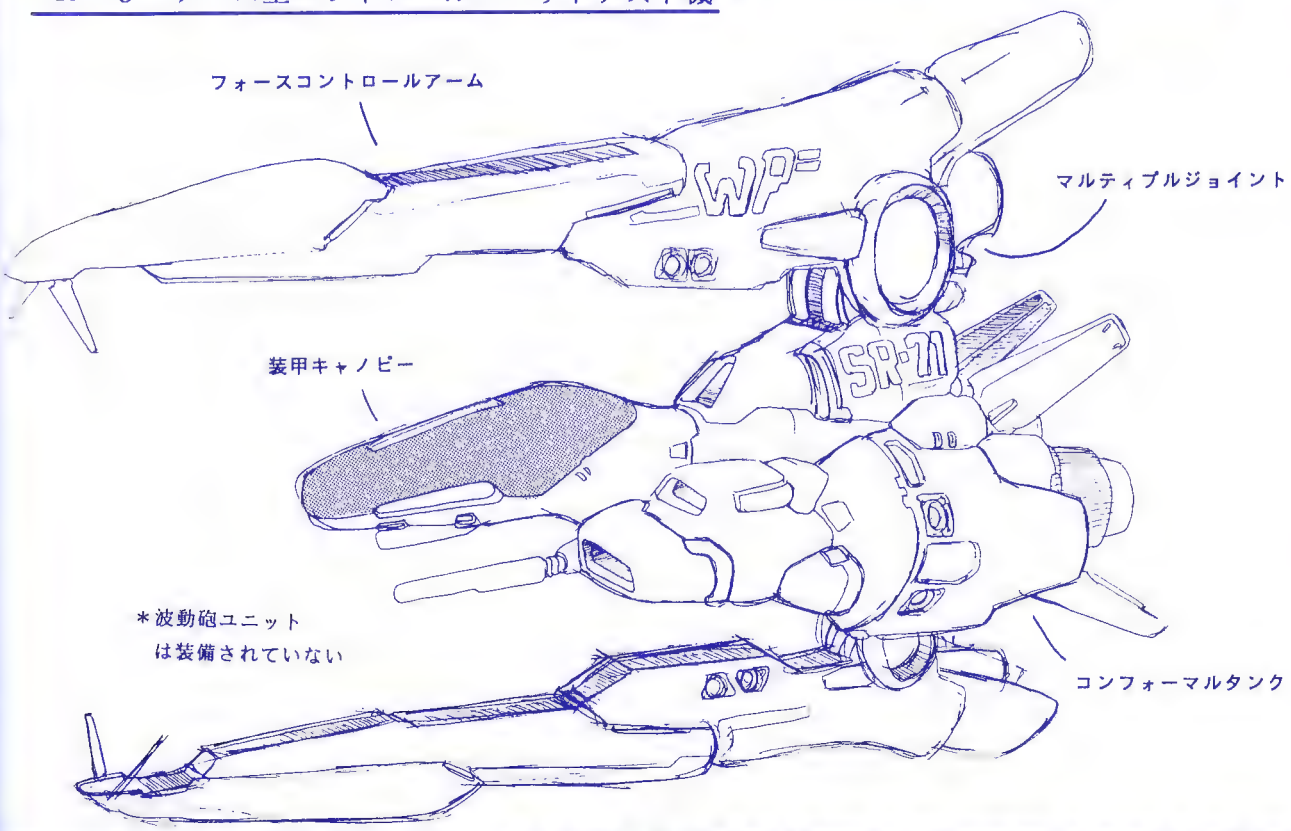


R－9．早期警戒システム装備型（E－WAC）



VARIATION

R－9　アーム型コントロールユニットテスト機

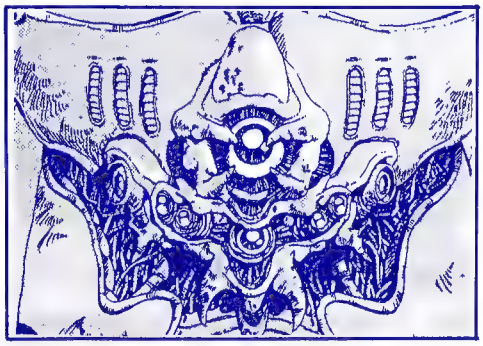


彼方より、

ACT 2

FROM BEYOND

OVER THE DEAD LINE



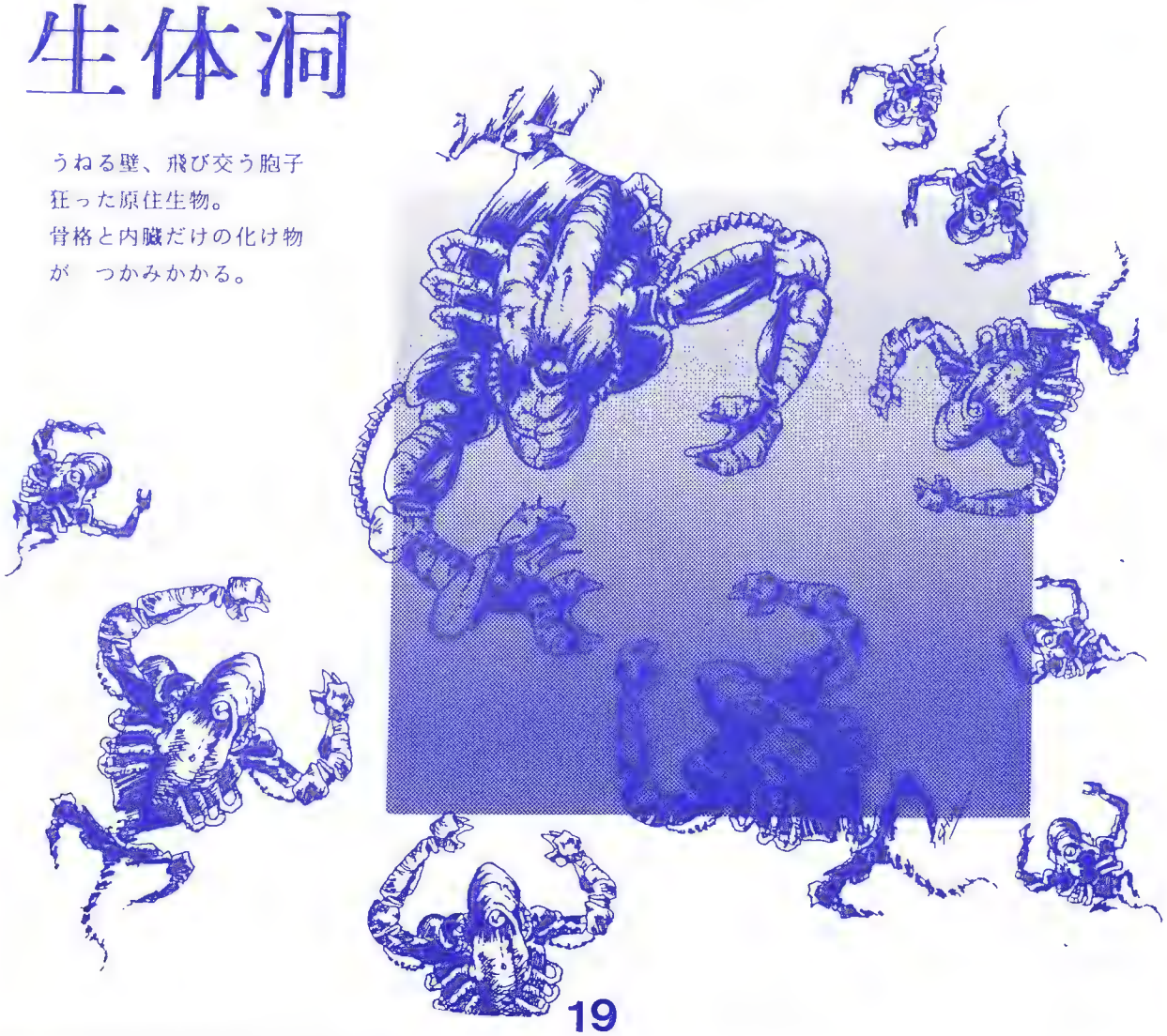
はじけた花火のむこうがわ
だれかがこっちを見ていたよ
　でも大丈夫
まける気はしないんだ
っていったら君は
どんな顔をするだろう

ブラプドケドス

異層次元への突入口をふさいでいたのは、おぞましい姿をした、荒れくるう実験体であった。渾身の一撃を顔面へたたきこむ。

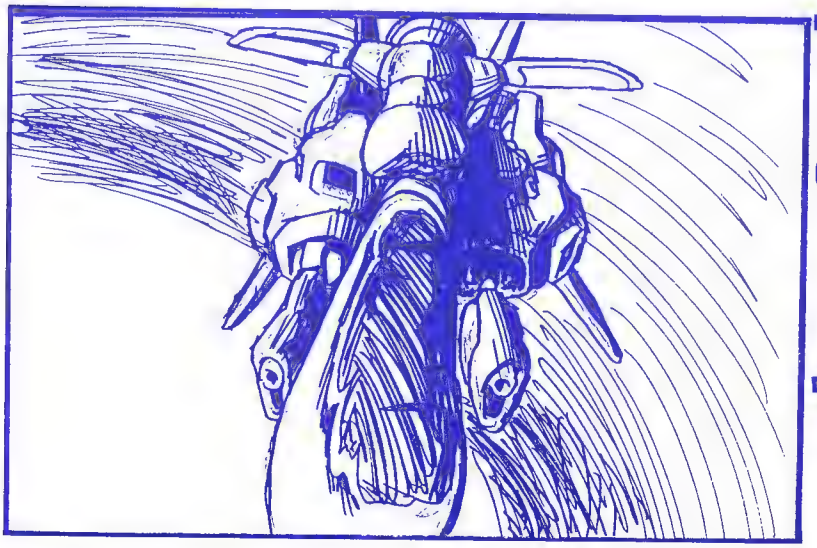
生体洞

うねる壁、飛び交う胞子
狂った原住生物。
骨格と内臓だけの化け物
が　つかみかかる。



対艦雷撃戦

サイトいっぱいにひろがる敵影。
視界に飛び込んでくる、うねるような外装と、こちらをターゲッティングした砲身。
目にうつるすべてのものが、敵。

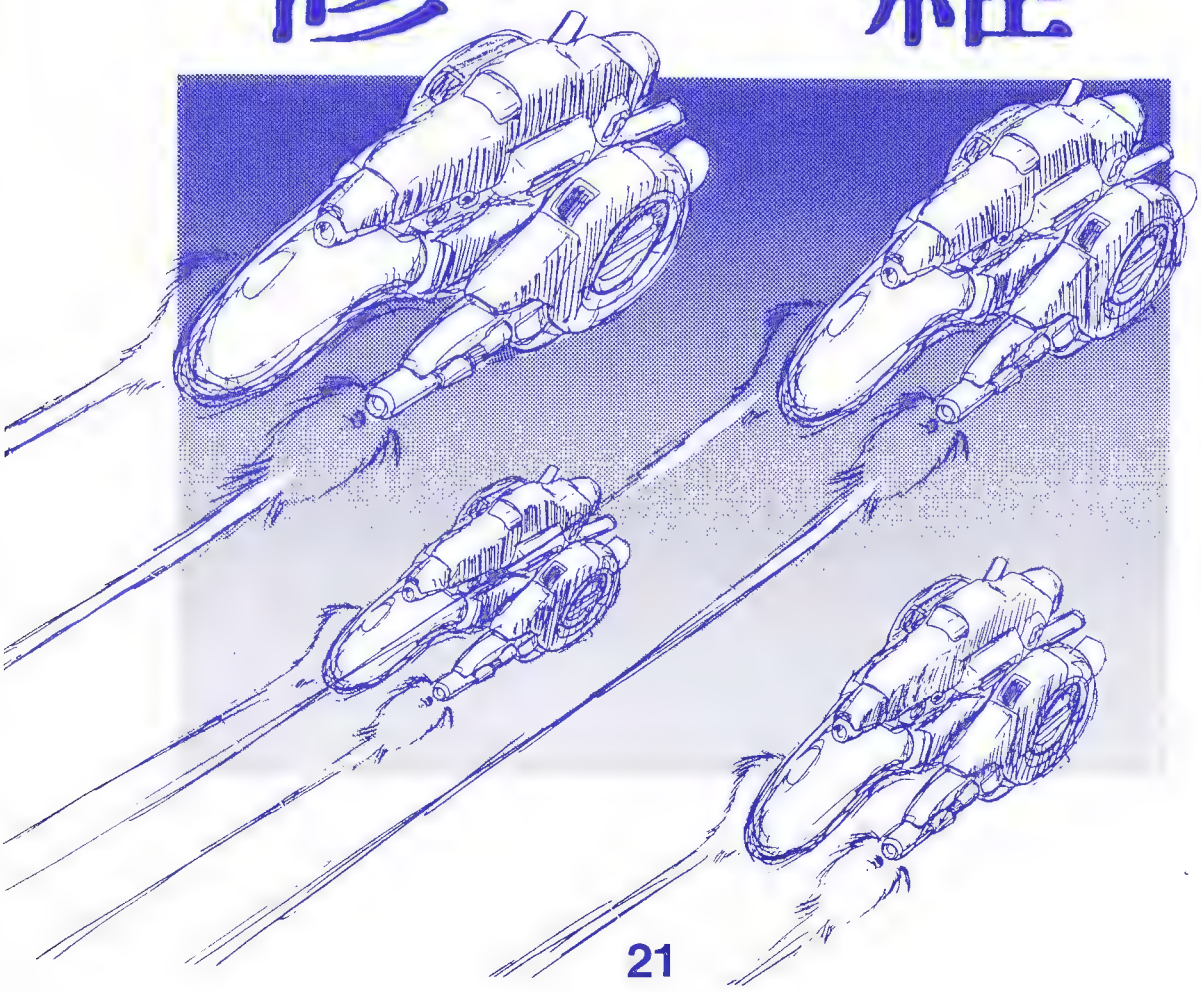


BATTLE OVER

R－9

修羅

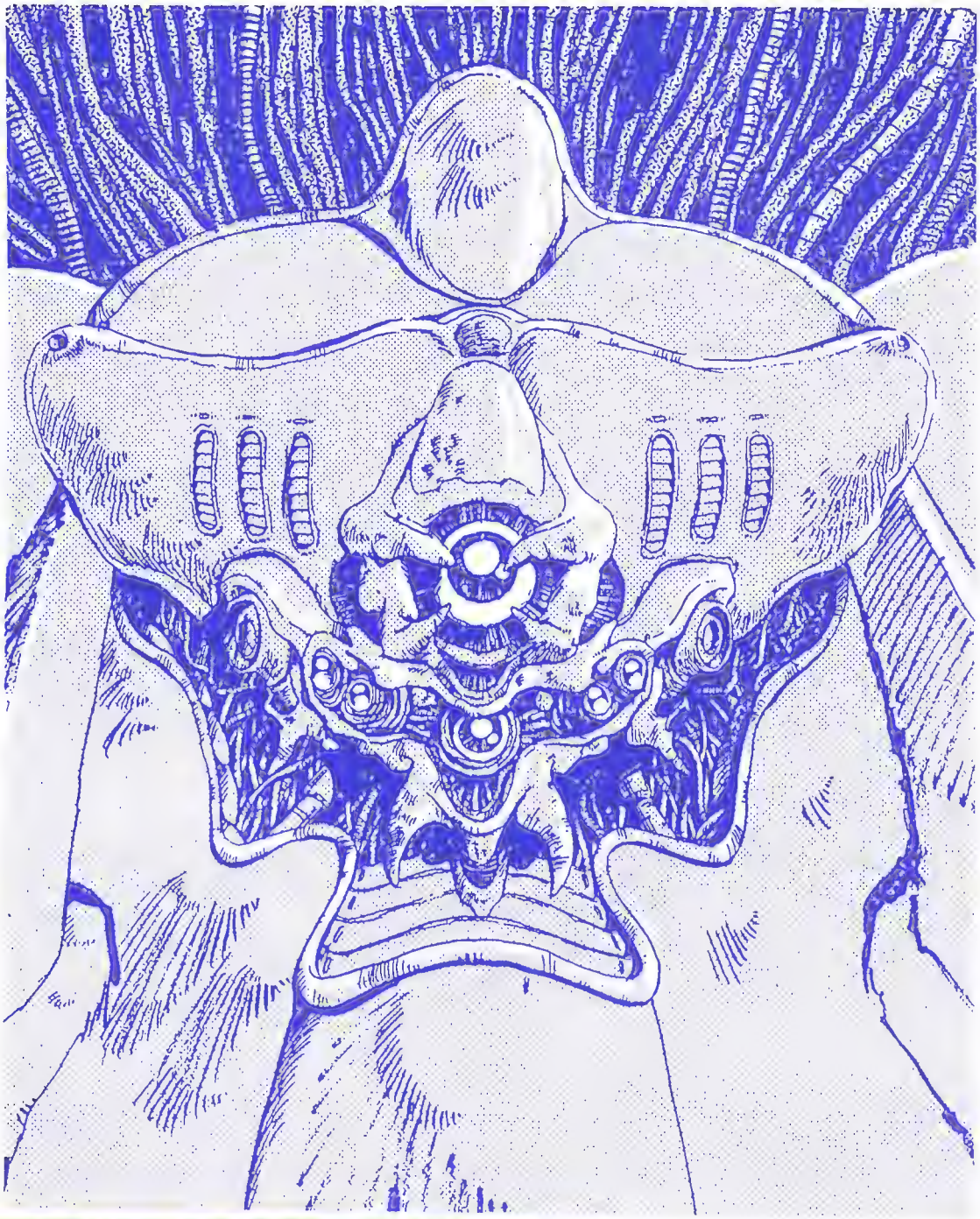
いざなうような水生植物の中
水流を逆行するR－9　多関
節甲殻生物が、うねり、飛び
ちる。そして、レーザーの洗
礼



母体内へ

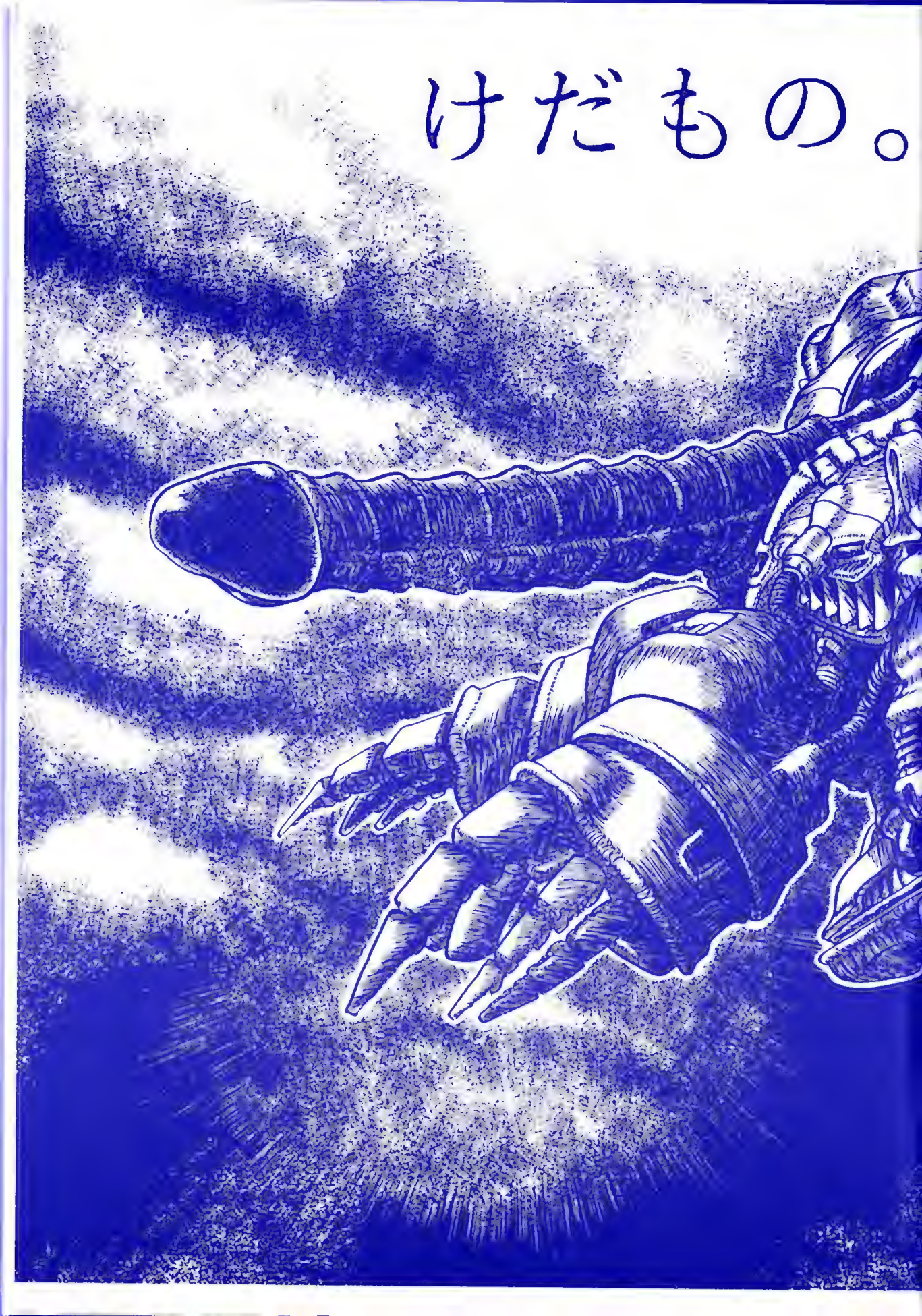
人間の原始的な嫌悪感をよびおこす、有機粘膜壁がつづく。
生まれそこねた異形の胎児がただよい、集束エネルギー体がはじけ飛ぶ空間。旅の終わり。
内臓肉壁の向こう側で何かが、笑った。

THE EMPIRE STRIKES BACK



邂逅

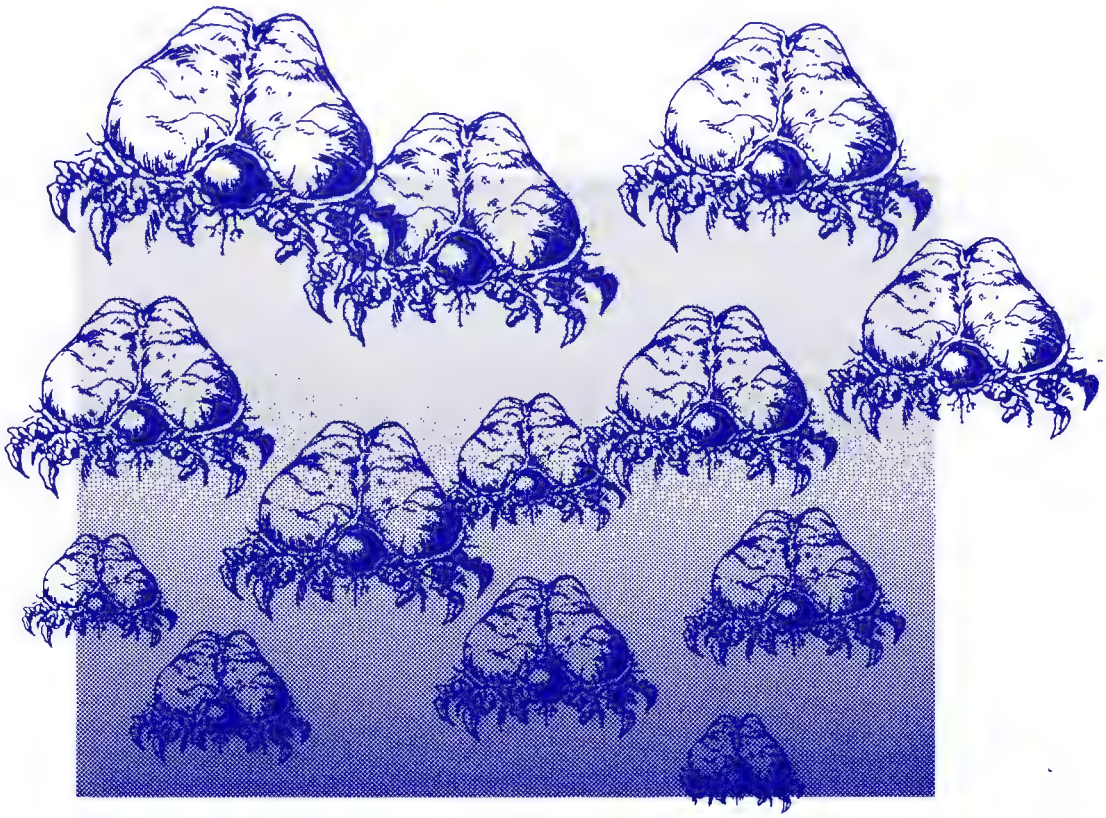
朽ちた神殿の奥で再生される悪夢の劣兵。
ヨロイの奥で、ヤツがほほえむ。
超振動波をたたきだす震える心臓へ、トドメの、一撃。

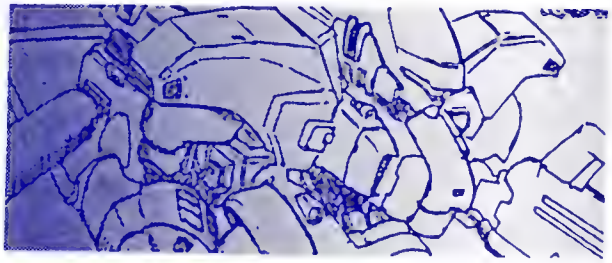

けだもの。

実際の商品は写真と多少異なる場合があります。

臓器

干上がった地下水流の底で
悍ましい生殖を繰り返す
巨大な臓器。歪んだ母性が
牙をむく。
生まれようともがく未熟児
は、胎内より悲痛な叫びを
あげる。





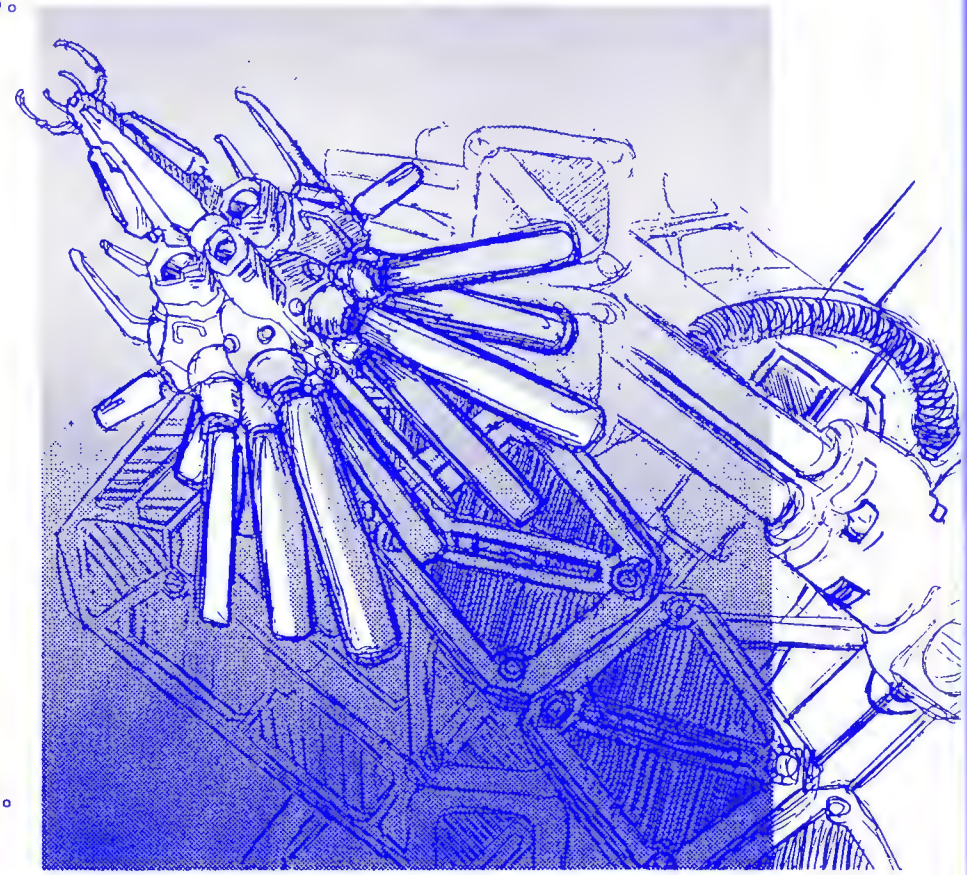
箱舟

雷鳴の空を埋め尽くした鋼の翼。
それは死の香りを運んで来た、
鋼鉄の旅団。
　爆弾の雨とプラズマレーザー
の嵐の向こう側へ、R－9改。

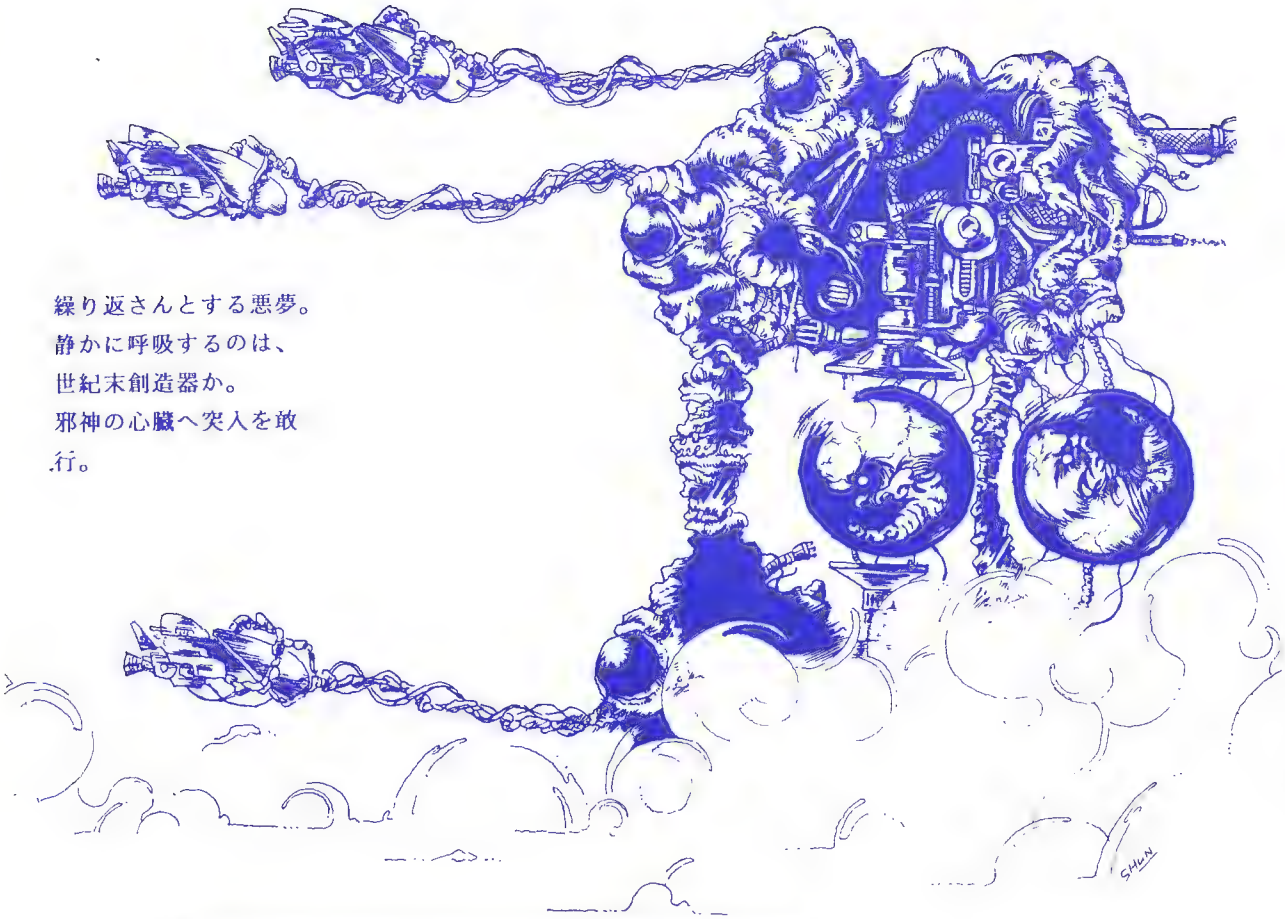
MOVING TARGET!

資源採掘場の脱出口には、
高速機動戦車ライオスが待つ。
吹きとんでいく背景の中、鈍い音をたてて
チェイシングバトルははじまる。
機械迷宮は地獄と化す。

ケブロス & オブロス



虫が、壁を生んでいる。
虫が、壁を喰っている。
構築される悪鬼の巣。
行く手を阻むフリーズド
ヴェール。
鉄を貪り、はい回る虫、虫、虫。
そして、最後の回廊へ。



MISSTION COMPLETE
~ESCAPE FROM THE EMPIRE

ファイナルミッションは、バイド帝星中心域に発見された、バイドのクローニングプラントの破壊であった。惑星自体をコントロールする管制コンピュータの中、蒸気清浄された空間に、それはひっそりとたたずんでいた。つながれていたのは、前作戦時に捕獲されたR－9であろう。たぶん、再生のために使われる金属イオンとしてだ。人間のパイロットは、すでに養分として吸収されていたにちがいない。
私は、レーザー通信を送り、R－9のシステムをたたきおこした。彼らとともにクローニングプラントを破壊したものの、旧型ゆえの非力さか、ラストシュートのオーバーロードか、彼らは鮮光の中、重力波に飲み込まれていった。
彼らを待っていたのは、結局はデッドエンドだったのか。パイロットの棺となってレクイエムを歌うのか。――― 私にはわからない。
――― つかれた。
――― 私はシステムを凍結させ、慣性ドライヴモードに入る。願わくば回収を望む。
――― このまま永遠をさまよい、朽ち果てるとしても、私は人間のままでいたかった。

バイドの進行が止まってから２５０時間後、異層次元巡洋艦「グレンダツウ」によってR－9カスタム“ウォーヘッド”は回収される。
パイロットは凍結状態で保存されていたが、発表では死亡となっていた。

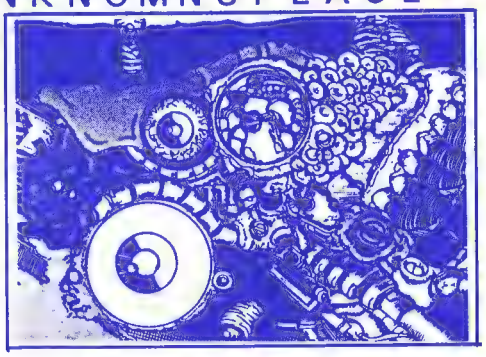
かかってきなさい。

ACT 3

DRAGONFLY
1'ST OPTION
R-TYPE
ILLEGAL MISSION

TARGETS!

SOMETHING IN THE UNKNOMNSPEACE



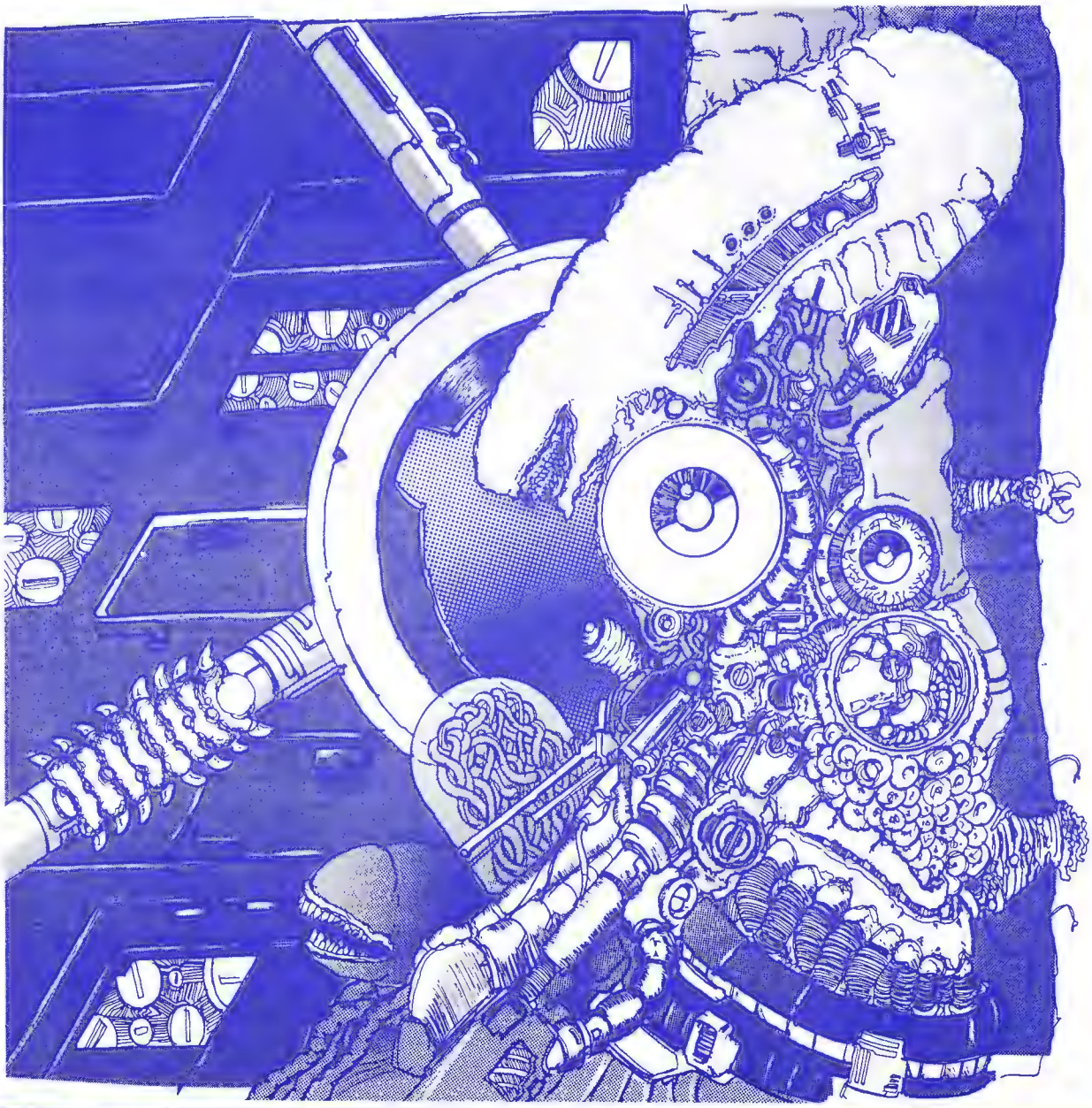
瞳にうつるボクの
知らないもの
おいでおいでをしているけれど
顔は笑ってないみたい
だってボクは招かれざる
客人なんだもの
だからボクの指は
トリガーの上なのさ

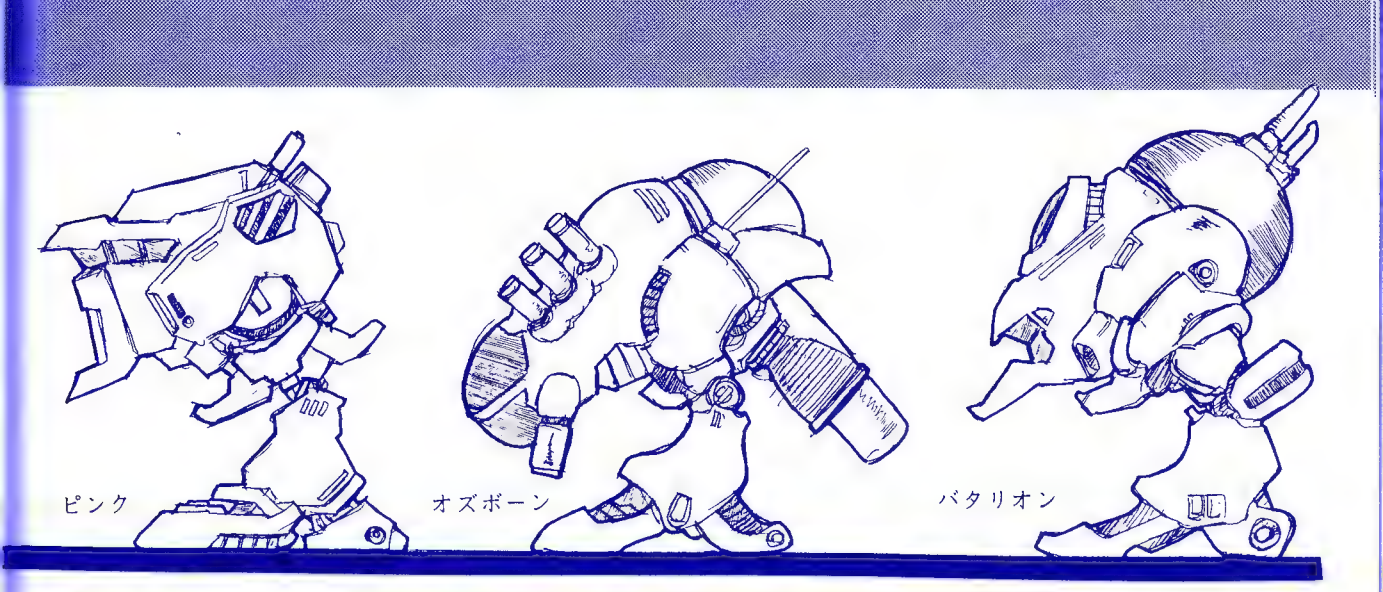
バイドーそれは２６世紀の人類が生み出した惑星級の星系内生態系破壊用兵器のなれのはてであった。銀河系中心星域に確認された、明らかに敵意を持った外宇宙生命体との接触に備えて建造されたそれは、反応兵器や次元兵器と異なり空間を汚染することなく、その効果範囲における全ての生態系を破壊する局地限定兵器であった。

月とほぼ同じ大きさのフレームの中に満たされた、全てを浸蝕し、取り込み、進化して、自分以外の生命体すべてを喰い尽すまで活動を続ける人の手による絶対生物、それは、生体物理学、遺伝子工学、魔道力学までも応用して合成した人工の生ける悪魔だった。

これをバイパスパイルを通して空間跳躍（Ｄ－ｗａｐｅ）させ敵の母星の存在する星域に送り込み全滅させる計画は完璧に進んでいるように見えた。だが、ほんの些細なミスによって“それ”は太陽系で発動した。150 時間荒れ狂った“それ”は次元消去タイプの兵器によって異次元の彼方へ吹き飛ばされ、一応の決着を見たのである。２６世紀では。

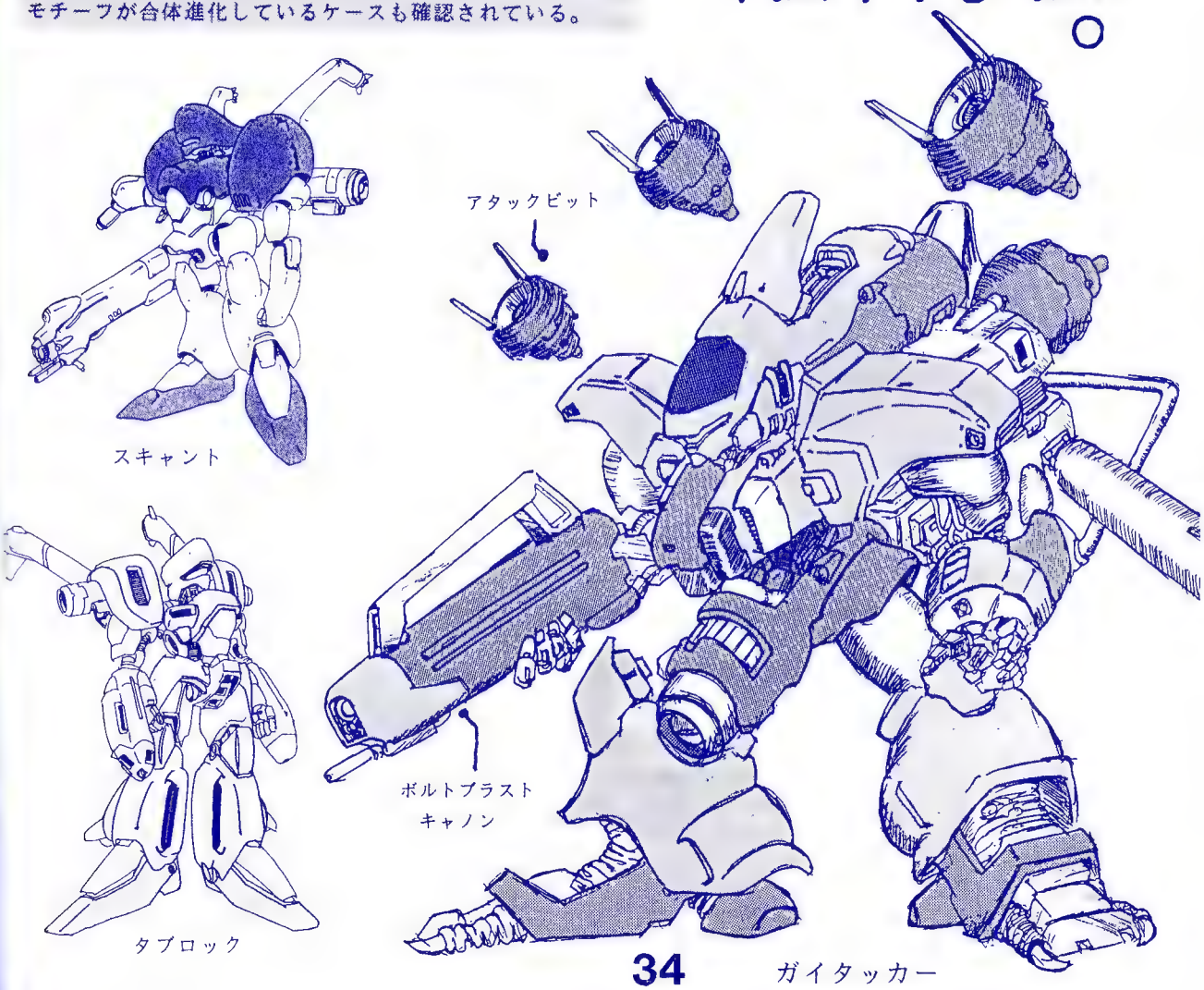
だが、“それ”は生きていた。異次元の中で進化を、続けながら胎動を繰り返す肉塊。気の遠くなるような彷徨の果て、時間を乗り越え、その力を発現したさきには、２２世紀の地球があった。

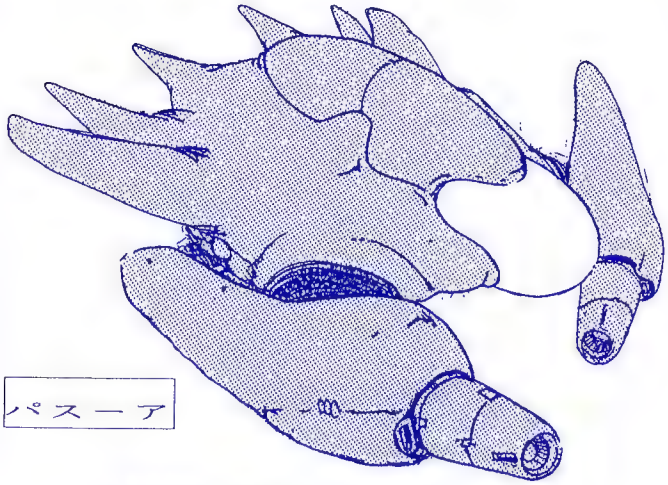




同一進化ライン上にあると思われる、二足歩行タイプ兵器の変遷である。“ピンク”では単なる哨戒機にしかすぎなかったが、“オズボーン”では、武装が強化され、全体面に丸みを帯びる事によって、耐弾性もよくなっている。“バタリオン”にいたっては、変型機能を備え、トーチカとしての運用も可能である。“ガイタッカー”のように複数のモチーフが合体進化しているケースも確認されている。

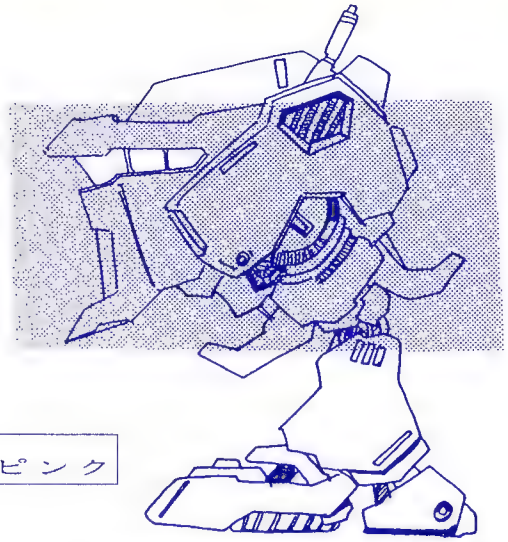
進化。浸融合。触。





パスーア

甲殻機動体。生体レーザー発信機を内蔵する。

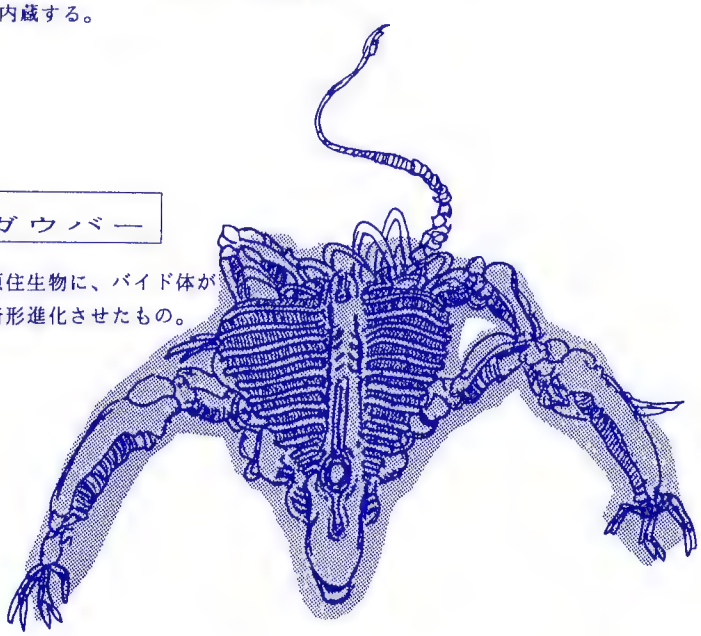


ピンク

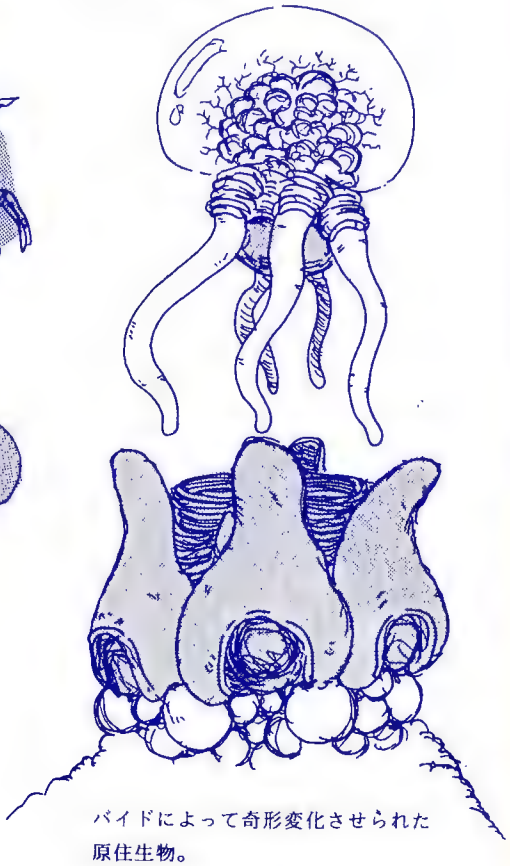
名前は地球側のあだ名である。兵員輸送機だったが、今、内にいるのは、胎動する肉塊だけである。

ガウバー

兵器生物。原住生物に、バイド体がとりつき、奇形進化させたもの。

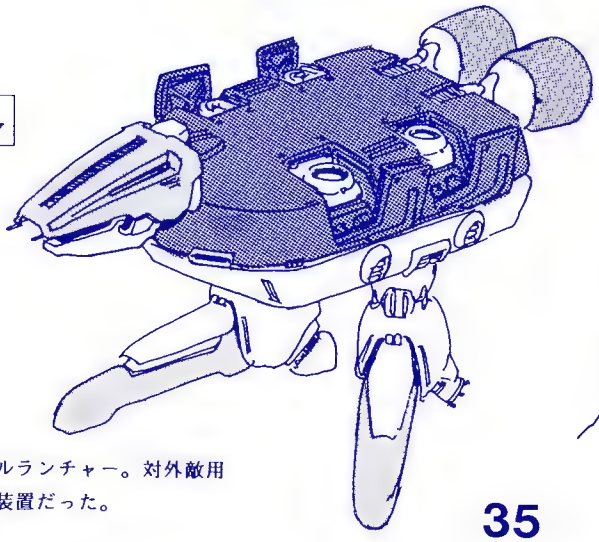


ゾイド
＆バルドル

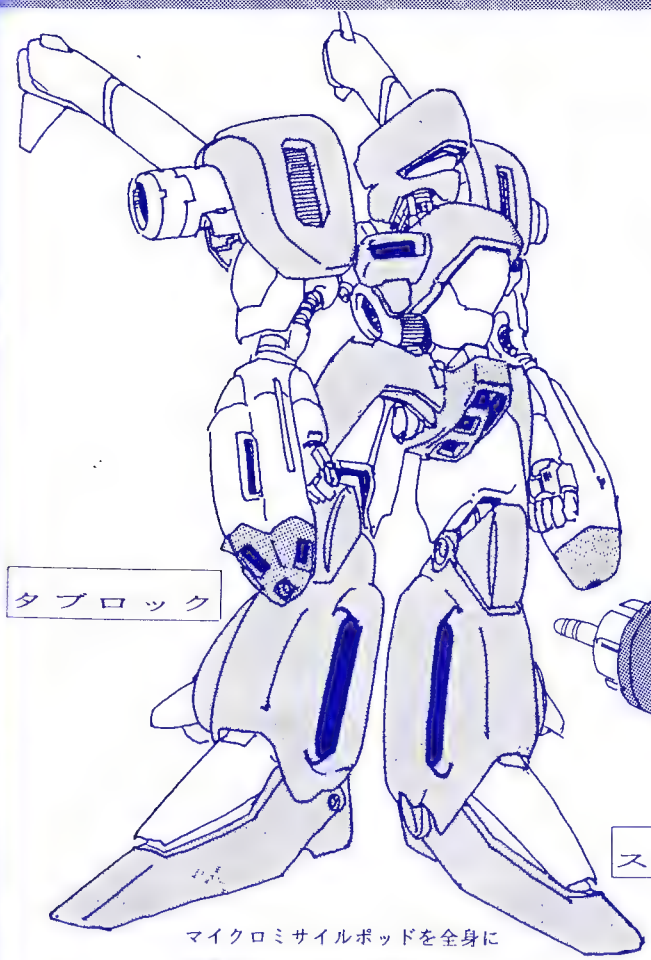


バイドによって奇形変化させられた原住生物。

ピスタフ

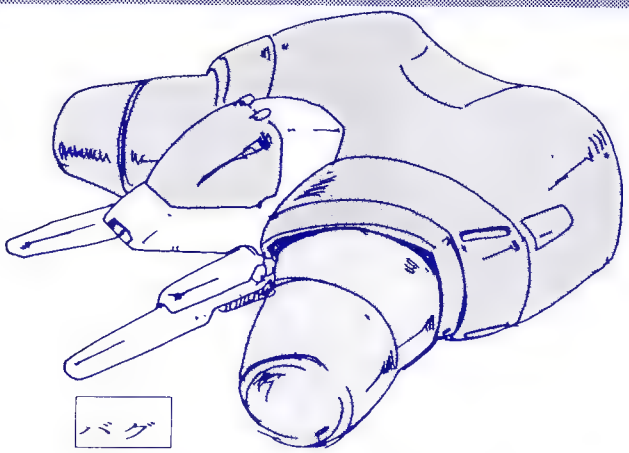


自走ミサイルランチャー。対外敵用の自動防衛装置だった。



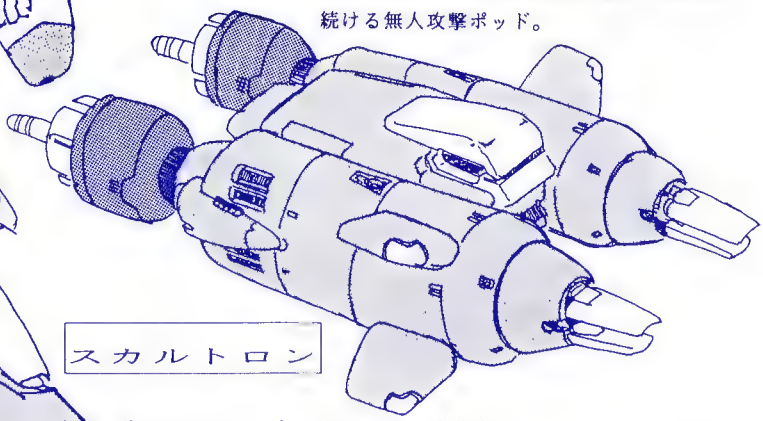
タブロック

マイクロミサイルポッドを全身に
内蔵したインサーセプター。



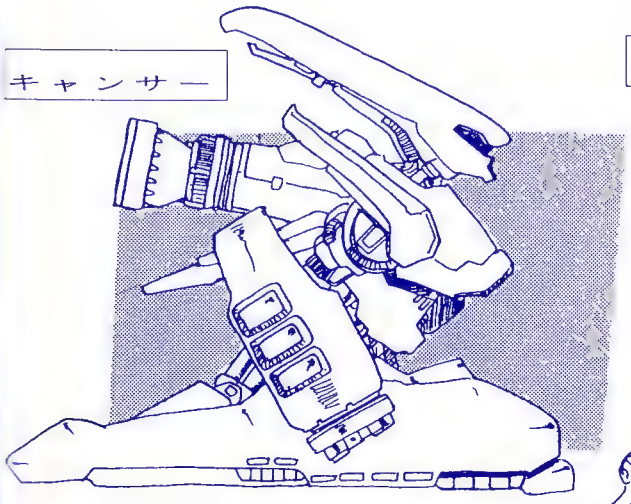
バグ

バイド体がとりこんだ兵器工場が、生産を
続ける無人攻撃ポッド。



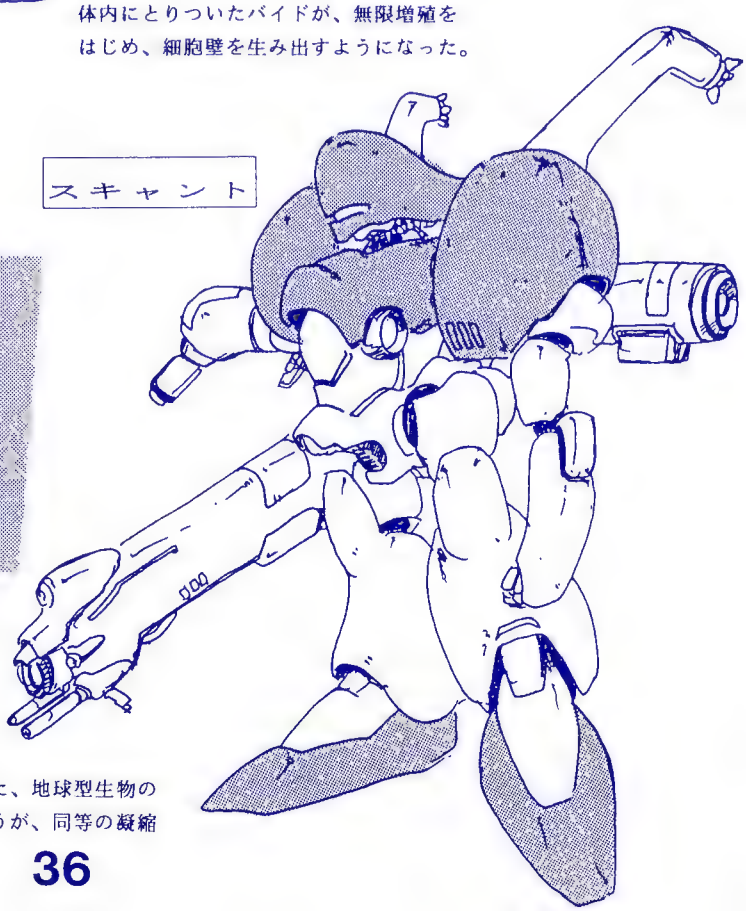
スカルトロン

元はアステロイドクラッシャー。しかし、
体内にとりついたバイドが、無限増殖を
はじめ、細胞壁を生み出すようになった。



キャンサー

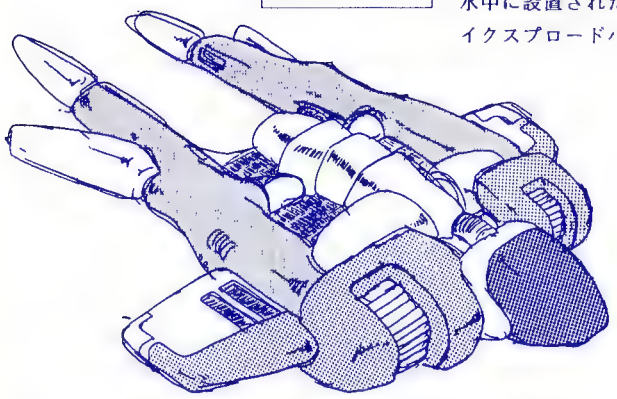
ホバリング可能な全領域制圧用兵器。
バイド兵器としては、初期のもので
ある。



スキャント

制御系をバイド体に乗っとられた、地球型生物の
機動兵器。R－9とは原理は違うが、同等の凝縮
波動体をうちだす。

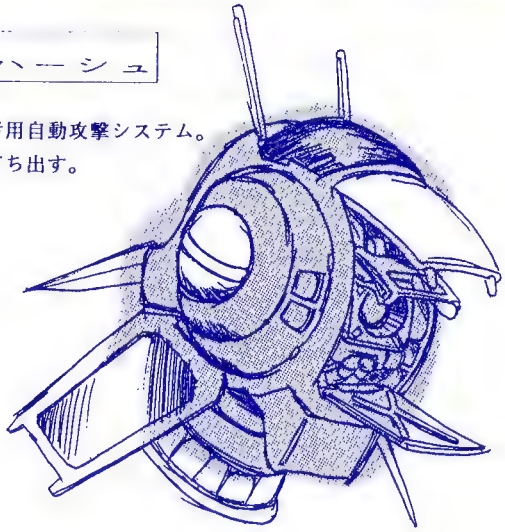
クラーク



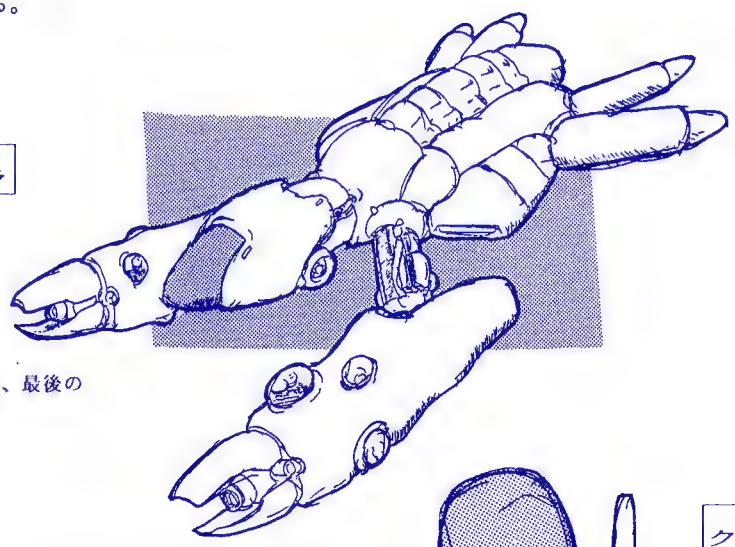
バイド生体兵器の中でも第二次の進化形態の物である。角質化が進み、金属のテクスチュアを形作っている。

ハーシュ

水中に設置された、侵入者用自動攻撃システム。
イクスプロードパイルを打ち出す。

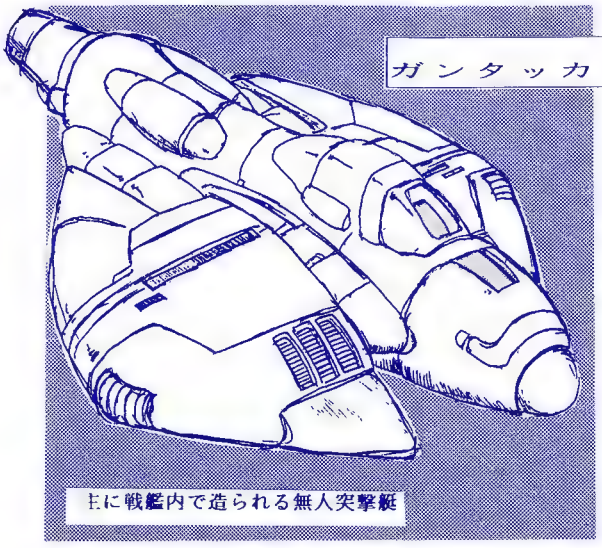


ドグラ



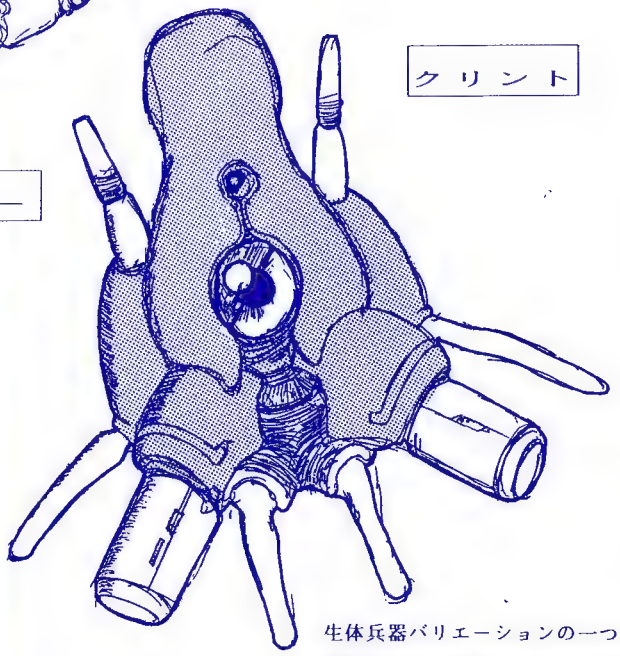
超硬皮革でつつまれた、最後のウーム防衛システム。

ガンタッカー



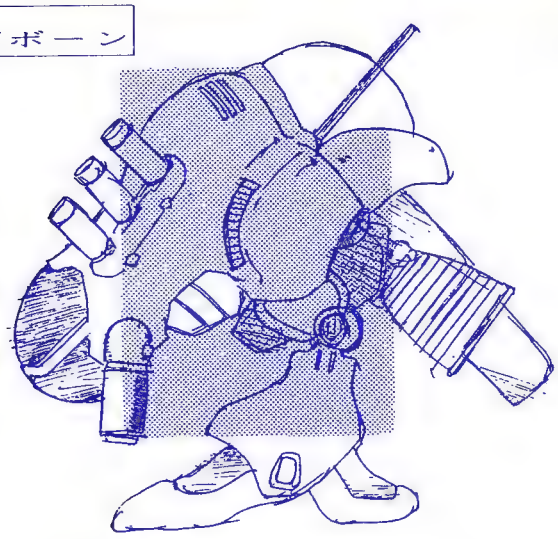
主に戦艦内で造られる無人突撃艇

クリント



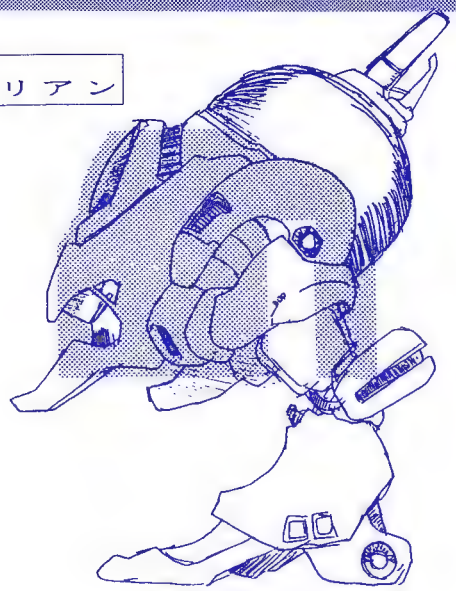
生体兵器バリエーションの一つ。
無限に生み出されるバイドの攻撃体。

オズボーン



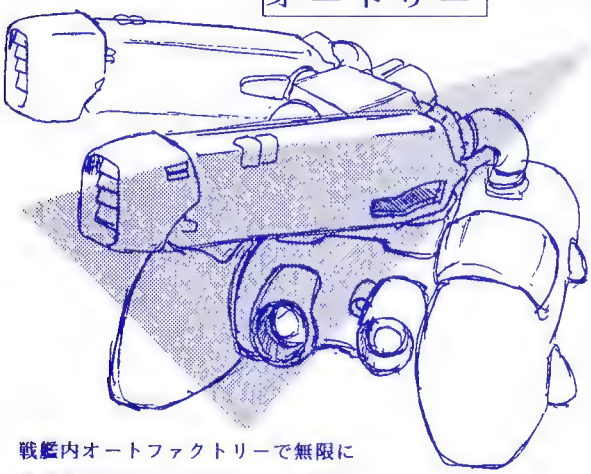
武装強化された兵員輸送機。しかし、そのポテンシャルは、すでに歩行戦車である。

バタリアン



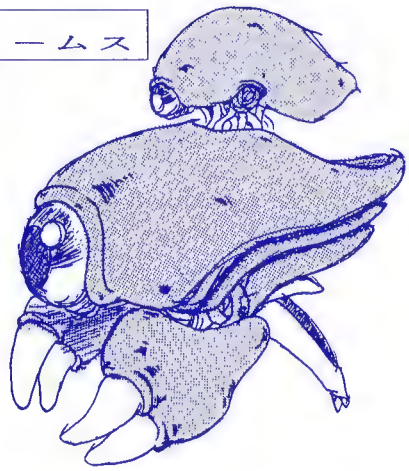
自動設置型可変トーチカ。

オードリー



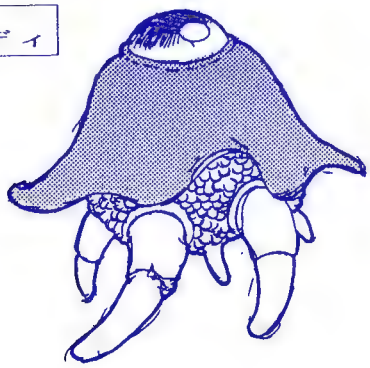
戦艦内オートファクトリーで無限に製造されるイオンランチャーを持つ自走対空砲台。

ブリームス



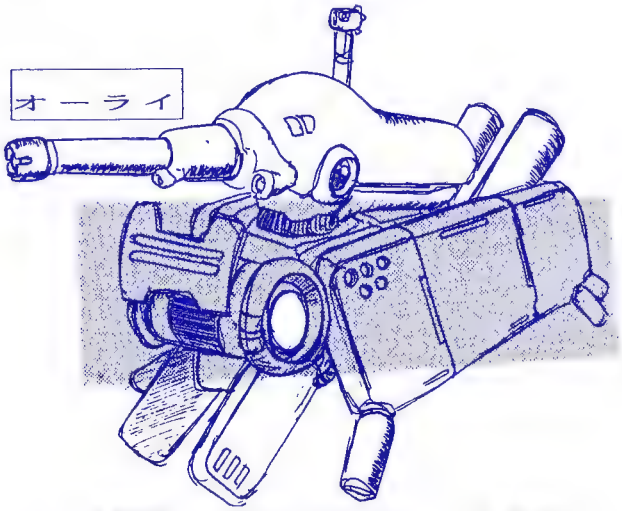
突撃魚雷としてバイド体に加工された原住生物。

レディ



バイドによって狂暴化させられた原住生物。

オーライ



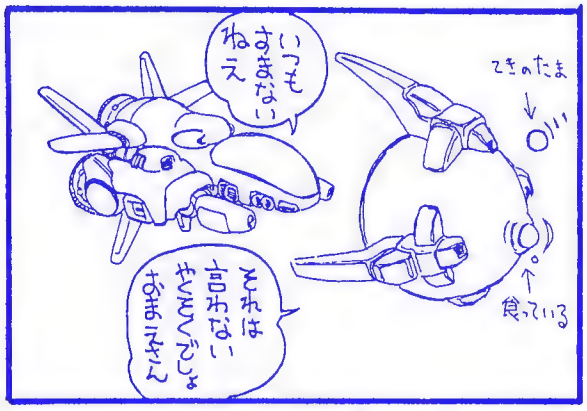
浮遊戦車。ライトタングステンアーマーは、非常に高い　耐久力を持つ。滑空砲も強力である。

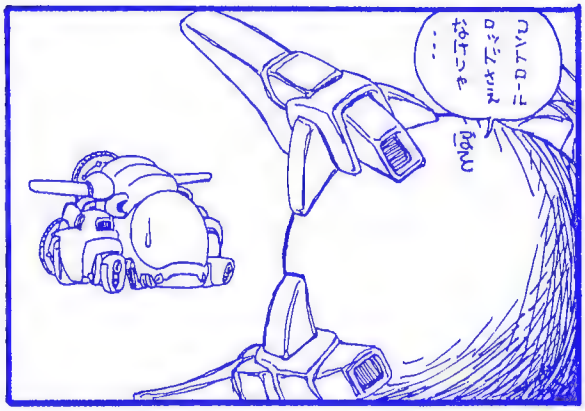
ACT 4

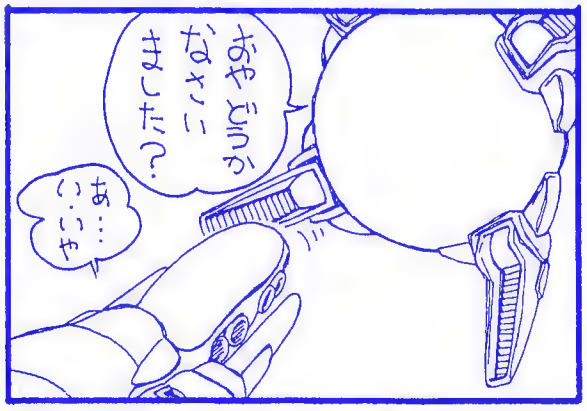
INTER M

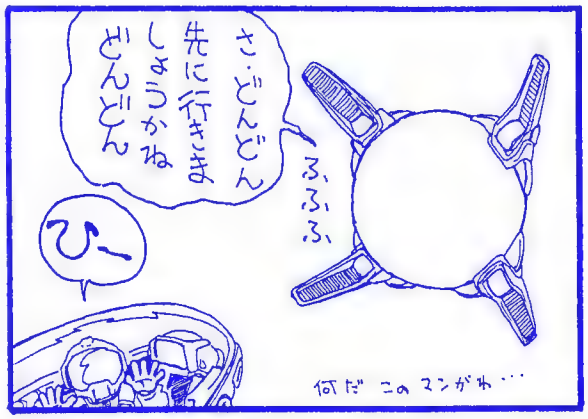
DON´T SAY "GOOD

しょせんあなたはバイドのなかま



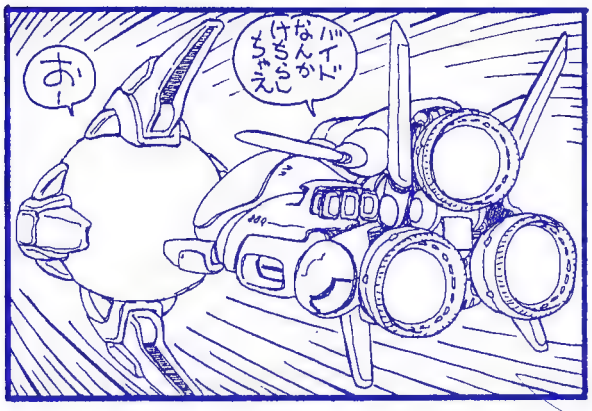


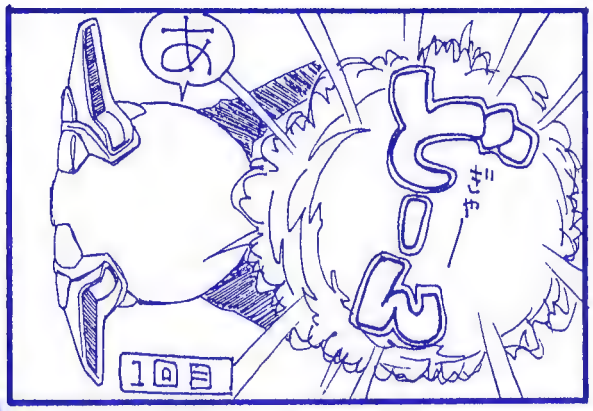


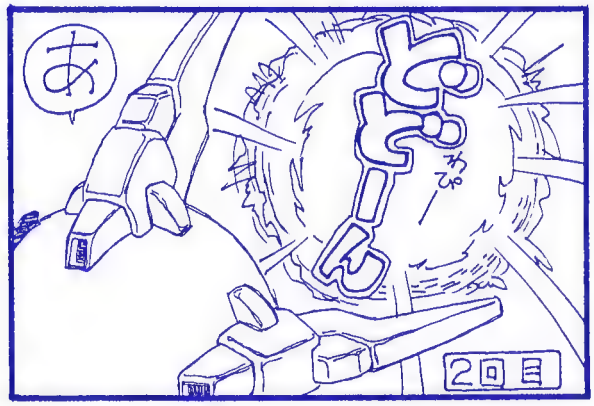


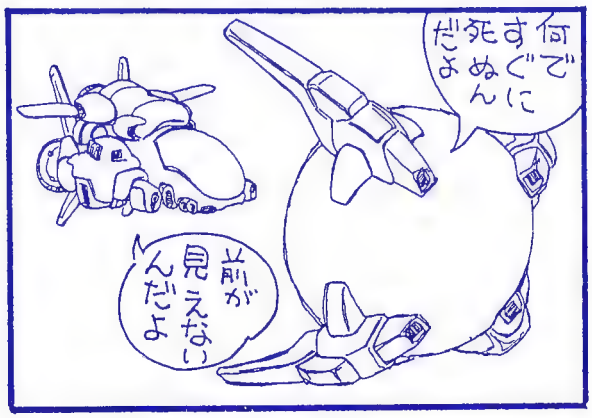
1991.9. ROKUJIZO.

しょせんわたしはバイドのみけら



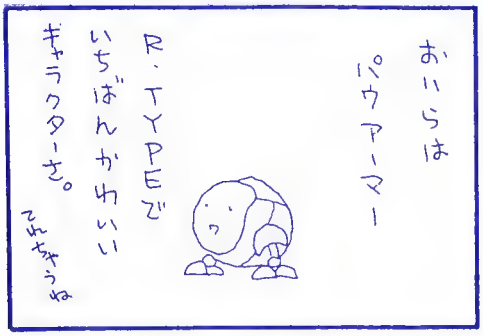






ISSITION

BYE" GO NEXT!!



ボクらを生んでくれた人

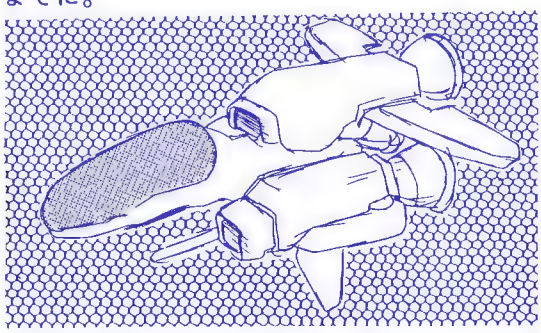
僕らはいつもまじめです
僕らはいつも全力です
　だからさ
また会おうね。
ぜったい。
きっと。

ここでは“R－TYPE”に関する、ちょっといい話　を集めてみました。制作サイドとの一問一答式（苦笑）で行こうかと思いましたが、めんどくさいから（あっさり）やめました。

とりあえず基本的な所で“R－TYPE”って何の意味？
RAY（光線）のTYPE（種類）ってことです。いろんなレーザーありますよーっていってるんですね。

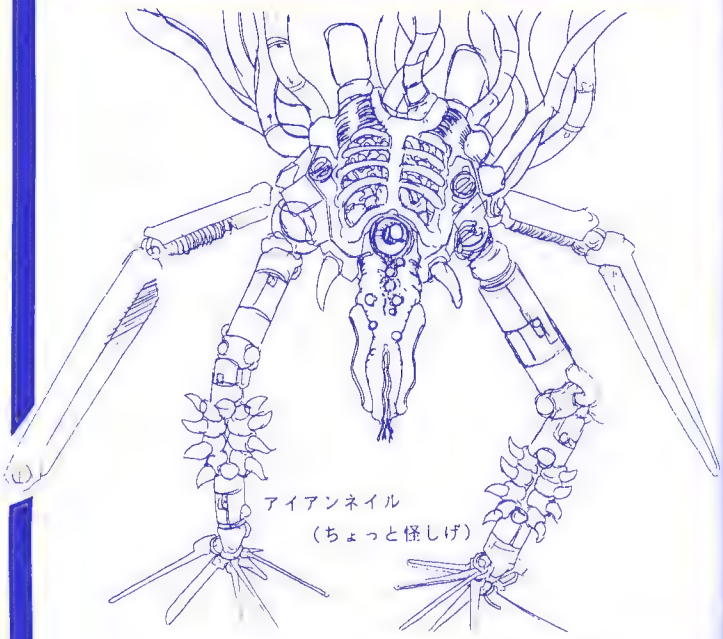
このレーザー、現在6種類ある（君、全部いえるよな。）わけですが、そのほかにも、企画段階でボツになったものも存在するわけです。Pーーーーーーレーザーとか、Pーーーーーレーザーとかあったんですけど諸々の大人の都合（失笑）で削られてしまったんです。Pーーーミサイルなるものもあったんですが－以下同文。

ボツといえば、当然キャラクターでも数多く存在します。いわゆるボツキャラですが、中でも有名なのがアーケード版R－Iの6ボス、“アイアンネイル”。キャラ表に名前が残っているだけで今となっては、デザイナーの記憶もPーーーなのですが、何とか聞き出してPーーーはPーーーなりにリニューアルしておきましたので、参考までに。

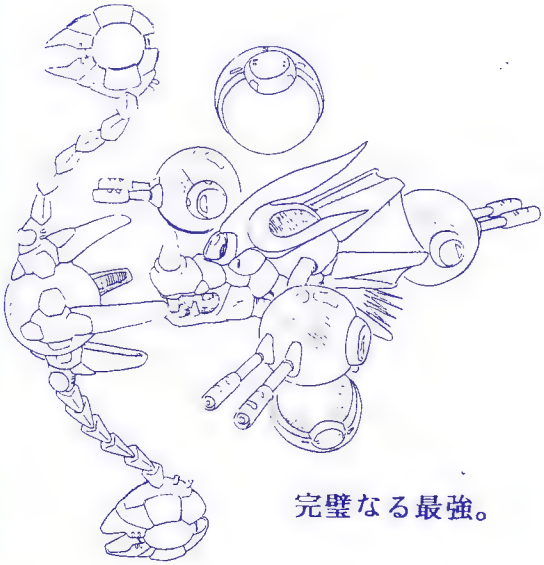


R－TYPEキャラクターといえばメタリックでグロテスクで長くて、そしてやらしいというイメージがありますが、その通りです。
だいたい自機のR－9自体がPーーを意識した物であるし、歴代の2ステージボス（S.R-TYPEでは3ボス）ではそれぞれがストレートに、人気のある部分を模した形、だろう

COMPLETE P-TYPE



ネーミングにいたっても、ほとんどが下ネタなんですね。案の定。前出の2ボス、ゴマンダーなんかは、当初そのまんまPーーダーだったらしいのですが、それではあまりにもアレなんで現在のように変えられたたそうですし。（しかし、このまま行くと次は絶対Pーーだな。）まあグロテスクとエロティシズムというのは紙一重ですからね。



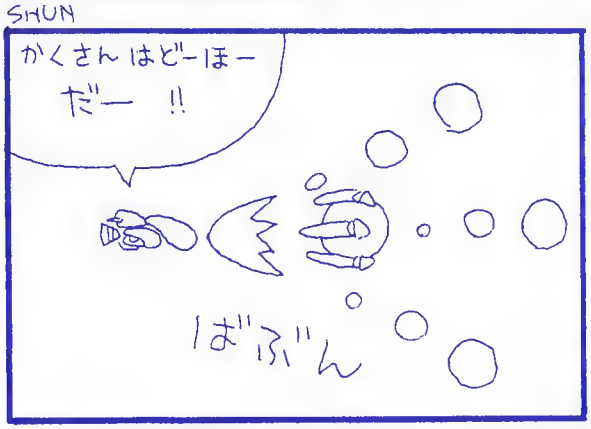
完璧なる最強。

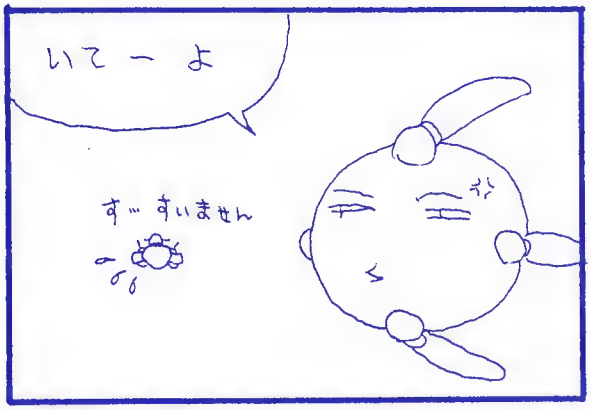
アイテムおこせ

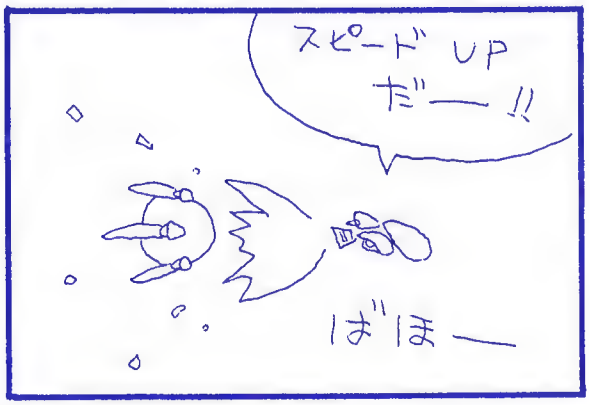
KAZAKAMI

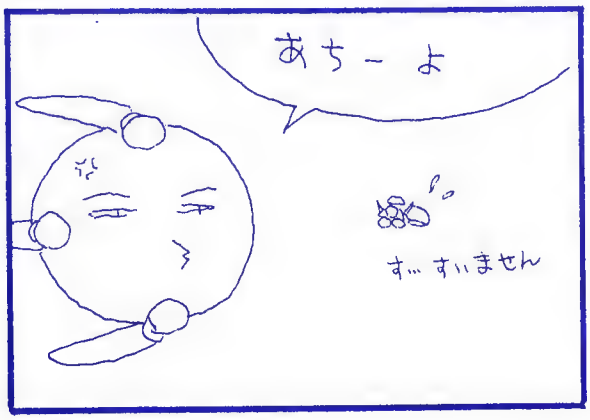
フォースは語る

SHUN



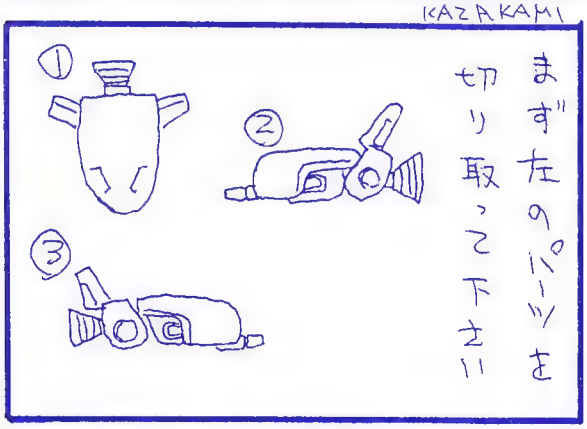


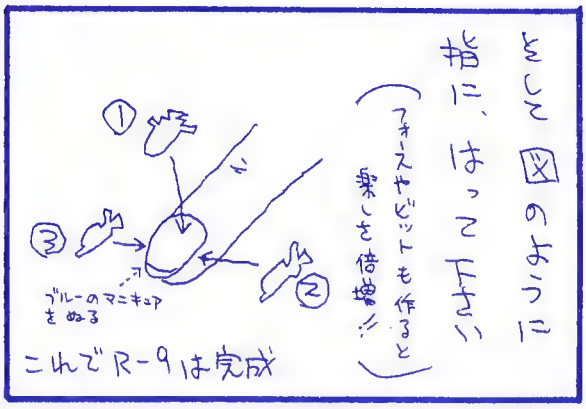


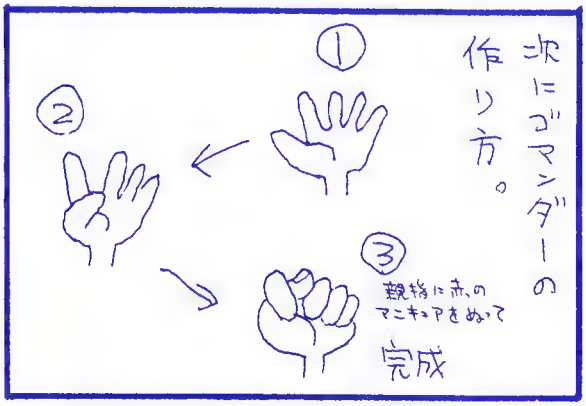


ふろく　どこにいても だれといても R-TYPEができてしまう キット

KAZAKAMI

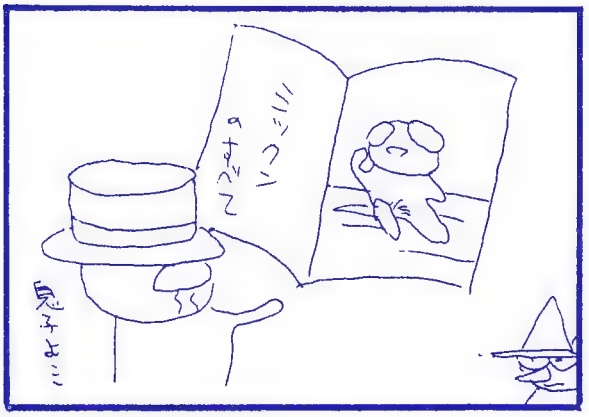






ミックンの目覚め

SHUN



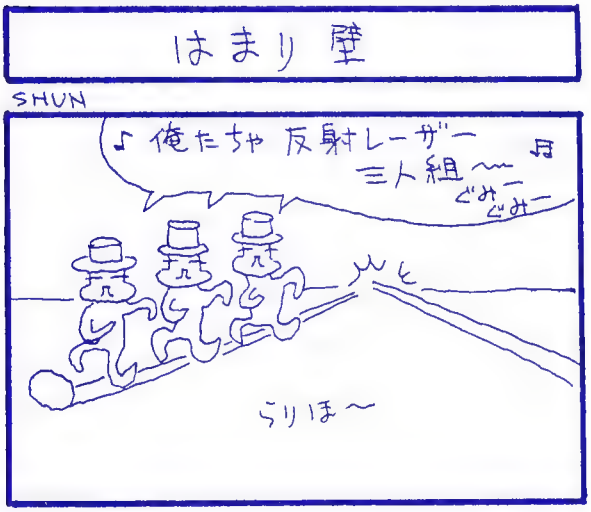
この本の目的ってのは、ユーザーさんにもっと“R－TYPE”の世界を知ってもらって、少しでも興味を持ってもらい、可愛がってもらえたらってことなんですね。これは。（あくまでも建前ですが）

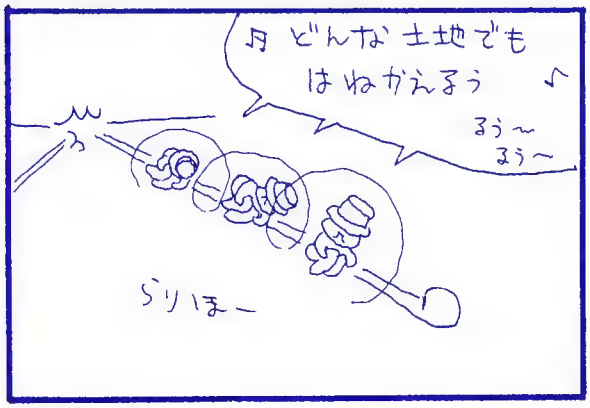
“R－TYPE”世界を時代に咲いた仇花として消費するだけではなく、創造していく為のテキストたり得る物、波紋を起こすべく、水面に投じられた石としたかったわけです。

ではその“R－TYPE”の世界観ってのはナニカ？ということですが、もう後のないギリギリの状態での正体不明の物との闘いという、シャレになってないヘビィな世界なのです。

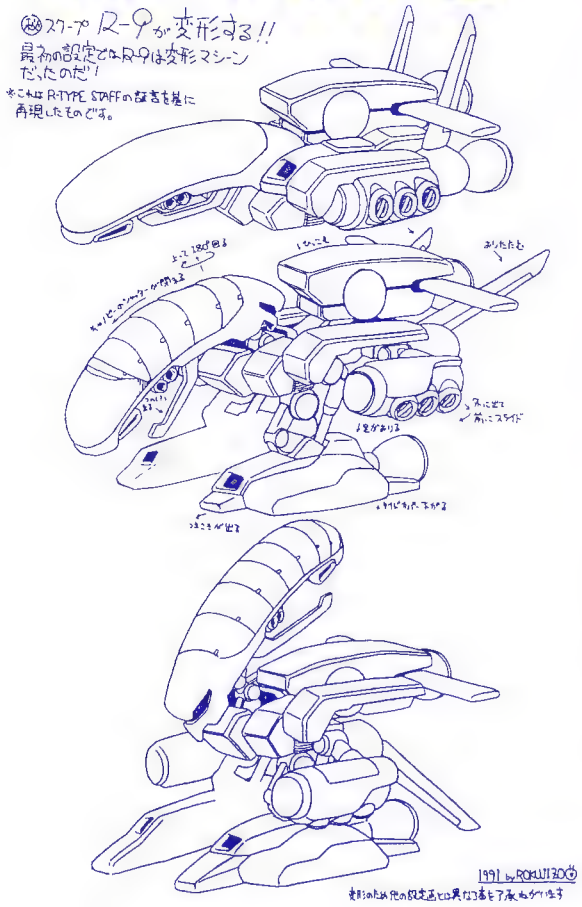
人間にとって一番怖い戦いというのは、相手の正体がわからない場合だそうです。

ナンタラ星のナントカ大帝がナニの目的で人類に対して戦いを挑んで来たというのなら、戦い様もあるでしょうし、知的生命体であるならば、そこにはまだ駆け引きの介入する余地もあるかもしれません。しかし相手が判らなければ、それもできません



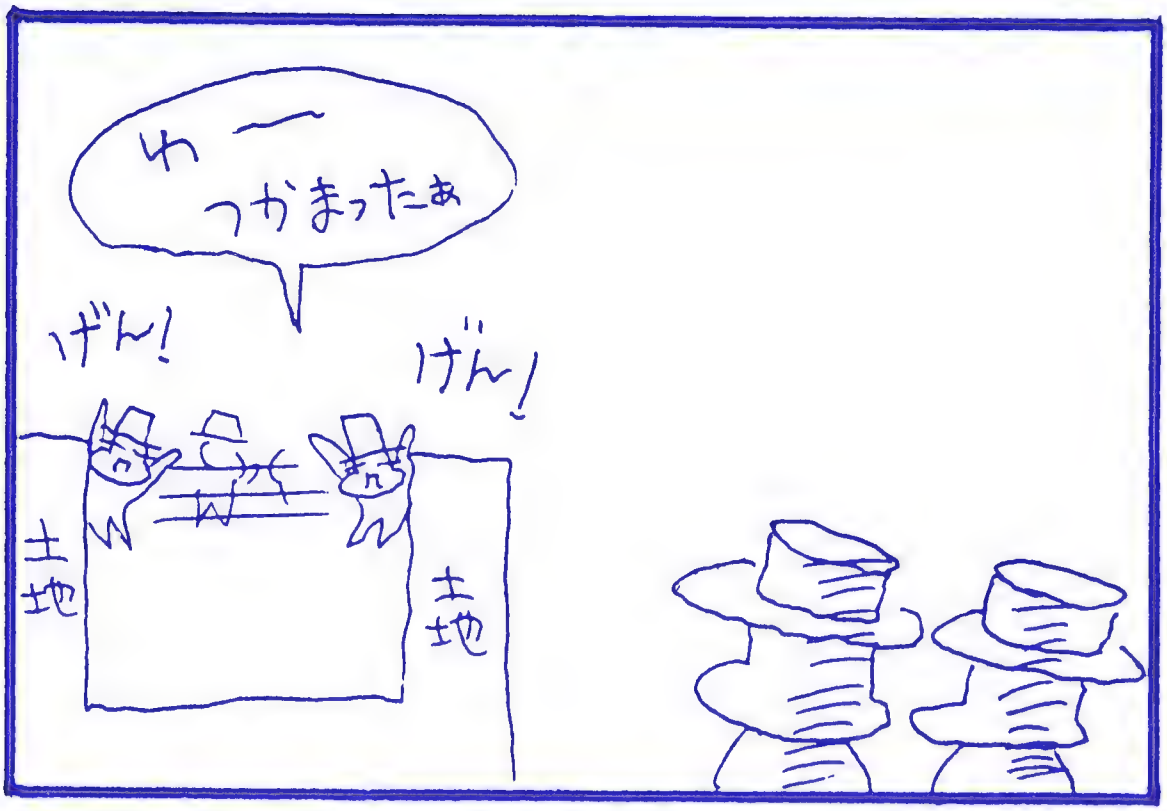


SWITCHED ON R-TYPE



し、様々な憶測や疑心暗鬼が横行することになり、やはり戦い易い状況とはいえないでしょう。しかし、それでも戦わなければ自分の存在自体を脅かす脅威となる敵、そういったものとの戦い、これがR－TYPEの世界です。

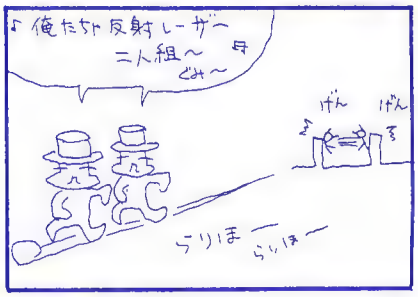
地球文明圏ＶＳ異次元生物、地球文明圏ってのは、地球だけでなく、人類が進出していった太陽系全体の文明のことを差します。異次元生物とはバイドの事です。バイド帝国と便宜上いっていますが、別にバイド人の社会がそこに存在するわけではなく、そこにあるのは全てを飲み込み、喰いつくすバクテリアのような物です。実はバイドというものは２６世紀の人類がつくった遺伝子兵器であり、それが異次元へ吹き飛ばされ、奇形．増殖したものなのです。ですから２２世紀の人類が判るよしもありません。　そのバイドには本能しか存在し

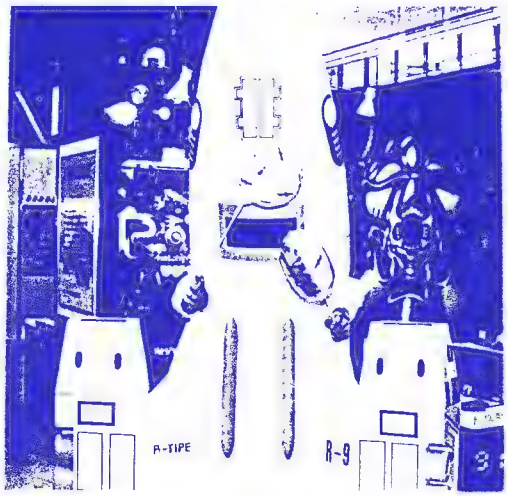


ません。元来、対生体系用無差別破壊兵器として生み出された物ですから、全ての生ける物を食らい、同化させ、果てしなく無限増殖を続けようとするのです。その手段として、その進路上にある文明圏を食べて行くのです。更にその手段の為の手段として、生物に取り付く・機械に融合する・単独で攻撃手段となる等をして、襲ってくるわけです。しかも色々な文明圏を取り込んでいますから、攻撃手段は多岐におよび、また、入り交じった思想が、禍々しい思念をもち始め、更に邪悪な存在へと変貌を遂げていくのです。　これが敵です。

だから、“R－TYPE”はロマンティックな英雄伝では決してなく、人類の喉元につきつきられたナイフをどうするかという、洒落にならない、冗談抜きの世界なのですよ。君。

みんなして、“俺の”R－TYPEみたいなものを持っているとは思いますが、一応、これが送り手側からのスタンダードな解答（押し付ける気はないから正解とはいいません）です。



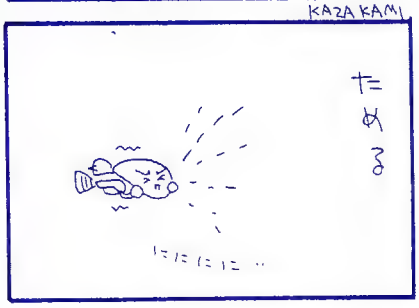


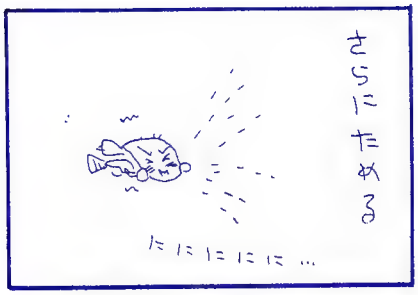
千葉県で確認されたR－9プロトタイプ（笑）。悪い宇宙人にケリをいれられた彼（笑）は上部エンジン破損の為、東京の秘密基地で修理中とのこと。（汗臭い。－パイロット談）

人生R－TYPE.

真理をつかめ

KAZAKAMI





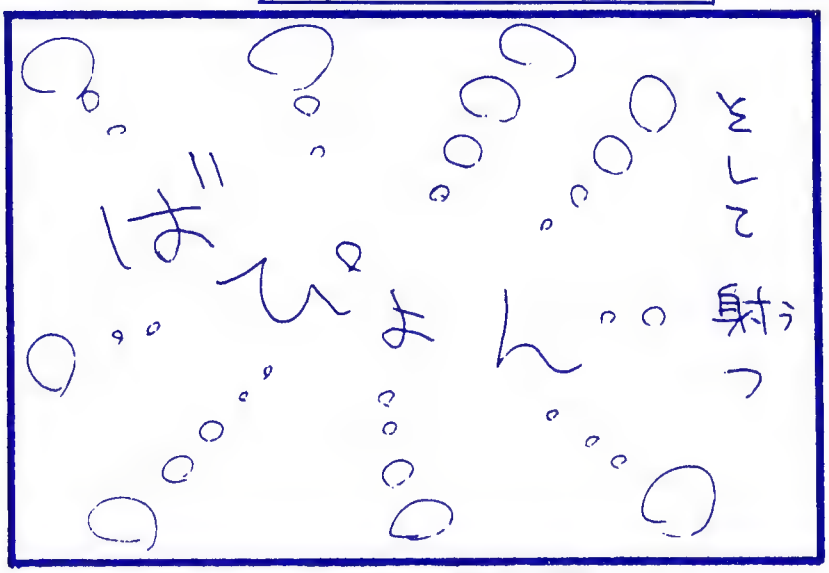
もうすぐだ。もうすぐ出来上がるんだ。そしたら、休みを取るんだ。髪を切って新しい服と鞄を買って、いつもより少し遠い所まで行くんだ。

見下ろせば光の川、目を上げれば夜景バックのもう一人の自分がいる。明日まで3時間。いつから始まったのだろうか。もう覚えていない。いつの間にかページ数は2倍に膨れ上がり、納期はすっとんでいったような気がする。自分が見たかった物を作りたかっただけだ。でもまだ足りない気がする。言っておくがこれは設定資料である。にしか過ぎないのだ。今までの蓄積をリストラクションしただけの素材なのだ。すなわち始まりである。次は君達次第だ。次回は2Dかもしれないし3Dモデルかもしれない。
次の闘いは君達がやる。
がんばるんだ。自分。

"ボンバーマン名人だよ"

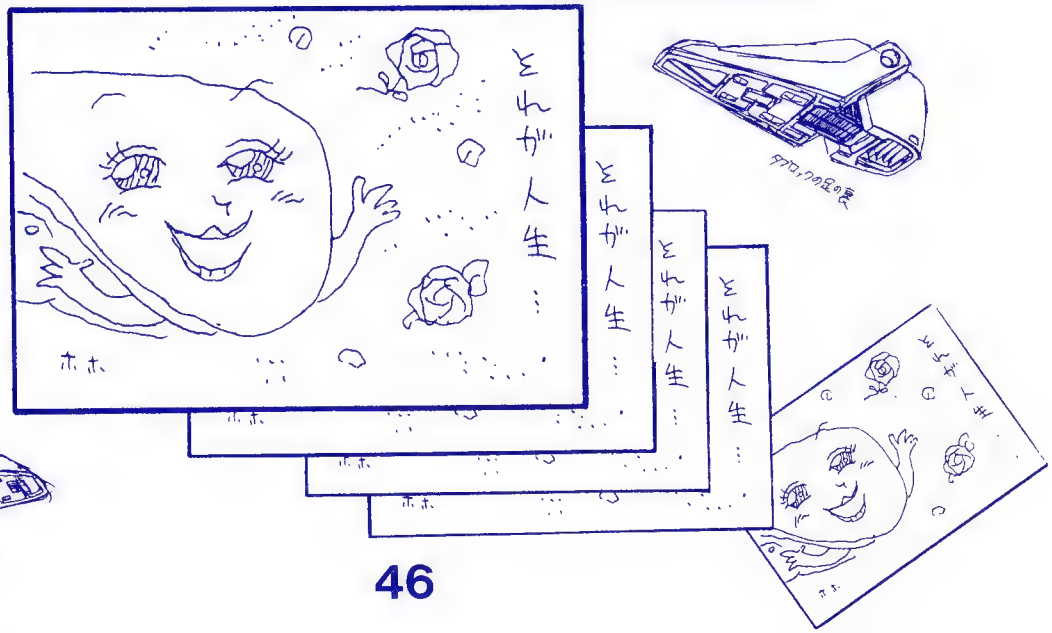
STAFF

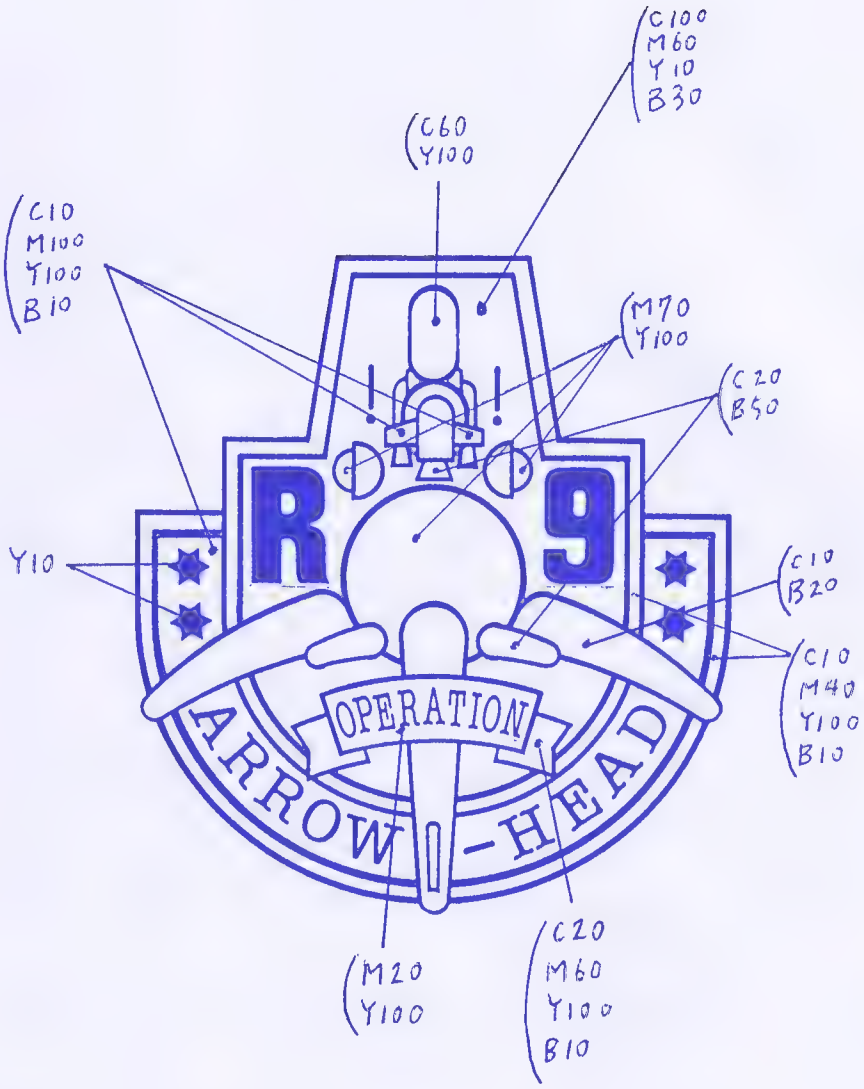
S. SAKOMIZU
with BOOMERANG UNIT
S. KBT
ROKUJIZO
S. KAZAKAMI
KANE
N. TEID
Y. ZAWA



DRAGONFLY
1'ST OPTION
R-TYPE
ILLEGAL MISSION

BLAST OFF AND STRIKE
THE EVIL BYDO EMPIRE
FREE PLAY





アイレムひみつブックシリーズ No. 1 (←おい)

irem

ドラゴンフライ 1st オプション

アールタイプ イリーガル ミッション

スーパーファミコン は任天堂の商標です

irem

スーパーファミコン

SHVC-ER

R·TYPE III

THE THIRD LIGHTNING

IS

07

ごあいさつ

このたびは スーパーファミコン専用ソフト「R TYPE Ⅲ」を
お買い上げいただき 誠にありがとうございました。
ご使用前に取扱い方、使用上の注意等この「取扱説明書」をよく
お読みいただき、正しい使用法でご愛用ください。
なお この「取扱説明書」は大切に保管してください。

＜使用上のご注意＞

1) 使用後はACアダプタをコンセントから必ず抜いておいてください。

2 テレビ画面からできるだけ離れてゲームをしてください。

3 長時間ゲームをする時は 健康のため、1時間ないし2時間ごとに10分～15分の小休止をしてください。

4. 精密機器ですので、極端な温度条件下での使用や、保管及び強いショックを避けてください。また絶対に分解しないでください。

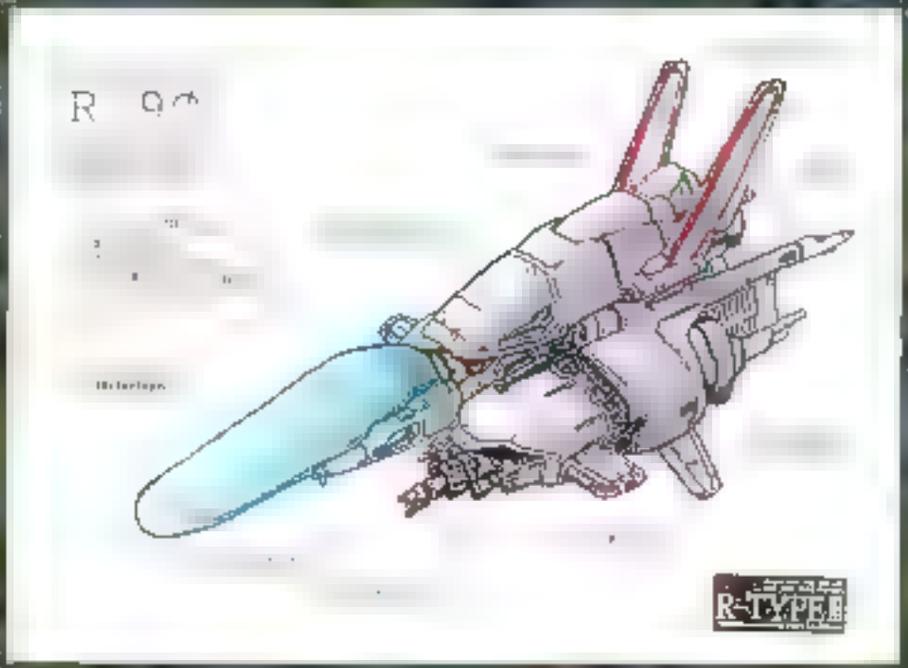
5) 端子部こまを触れたり 水にぬらすなど 汚さないようにしてください。故障の原因となります。

6) シンナー ベンジン、アルコール等の揮発油でふかないでください。

7) スーパーファミコンをプロジェクションテレビ(スクリーン投影方式のテレビ)に接続すると、残像現象 画面ヤケ が生ずるため、接続しないでください。

＜健康上の安全に関するご注意＞

疲れた状態や、連続して長時間にわたるプレイは、健康上好ましくありませんので避けてください。また ごく稀に、強い光の刺激や 点滅を受けたり、テレビ画面等を見たりしている時に 一時的に筋肉のけいれんや 意識の喪失等の症状を経験する人がいます。こうした症状を経験した人は、テレビゲームをする前に必ず医師と相談してください。また テレビゲームをしていて このような症状が起きた場合には ゲームをやめ、医師の診察を受けてください。



CONTENTS

人類、NO FUTURE!～ストーリー ……3
LOADED GUNS～R-9Ø(ZERO) ……4
GET READY?～コントローラー ……5
FIRE DANCE!～攻撃方法 ……6
POW UNIT～アイテム ……7
OVER KILL WEAPON～フォースデバイス 9
APOCALYPSE NOW～ステージプロット …11
FROM BEYOND～彼方より ……13

人類、NO FUTURE ～ストーリー LOADED GUNS ～R-9Ø

R-9Ø

戦場 ON THE TV ～[illegible]表示

フォース

目撃

[illegible]

スコア

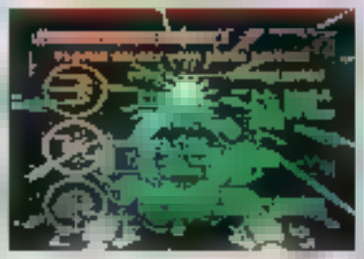
ビームゲージ

GET READY? ～操作方法

※ボタンの配置はOPTION MODEで変更可能。

FIRE DANCE! ～攻撃方法

■フォースについて



アイテムのレーザークリスタルをとると敵弾を防ぐ無敵の兵器"フォース"が出現します。さらにクリスタルを取ることによってフォースは3段階に成長し、2段階めから自機レーザーを撃つことができます。

自機と合体中にボタンを押すとフォースは分離し、独自に攻撃を始めます。分離中にボタンを押すと自機に近付き合体します。状況に応じ、自機の前後に付け変えが可能です。

フォースは3種類あり、選択画面で選ぶことができます。ただしゲーム途中で変更することはできません。

■波動砲・メガ波動砲

ショットボタンを押し続けると、ビームゲージにエネルギーがチャージされ、ためた分のエネルギーで強力な波動砲を撃つことができます。

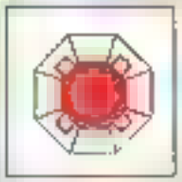
さらにエネルギーを2回フルチャージしてゲージがオレンジ色に変化すれば、地形をも貫通する超強力なメガ波動砲を撃つことができます。

■ハイパードライブモード

Rボタンで波動砲モードをハイパードライブに切り替え、ビームゲージの左の表示がBEAMからHYPERに変化し、エネルギーを2回フルチャージして解放すれば一定時間、波動砲連射が可能となり強力な攻撃ができます。ただし一度使用すると、波動砲が使用できなくなります。

オーバーヒートし、十数秒間

POW UNIT ～アイテム



レーザークリスタル

フォースを成長させ、各種レーザーを撃てるようになる。

スピードユニット

自機のスピードがアップする。最大5速。

ストラグル・ビット

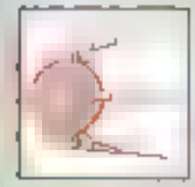
自機の上下に付き援護する。最大2個まで装備可能。

エレクトロンミサイル

高速追尾機能をもつ光子魚雷。

OPTION ～インターフェイス

TYPE-1 ラウンド フォース



今となってはやや旧式となりつつある、バイト生命体を元につくられたフォース。パワーレベルも低いのでエースパイロット向けである。

対空レーザー
前方に発射される強力なレーザー

反射レーザー
3方向に発射され、地形で反射するレーザー

対地レーザー
上下に発射され、地形に沿って進むレーザー

分離時　最大4方向ショット

TYPE-2 シャドウ フォース

完全に人工のフォースである。支援兵器として、シャドウユニットが装備されており360度全方位攻撃が可能である。コピットリターン機能により、合体分離がスピーディに行える。

リバースレーザー
フォースの合体している方向の逆が攻撃可能なレーザー

オールレンジレーザー
シャドウユニットよりレーザーが発射され、全方位に攻撃が可能。

ガイドレーザー
対地レーザーの強化版である。上下に加え、前方にも地形に沿って進むレーザーが発射される。

分離時　シャドウユニットが、ショットによるオールレンジ攻撃を行う。（十字キーと逆方向を攻撃する。）

TYPE-3 サイクロン フォース

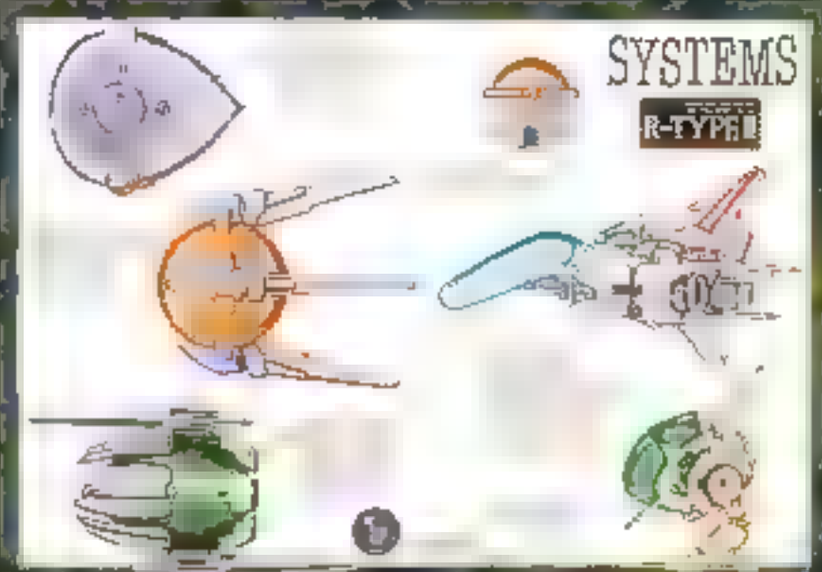
バイト生命体をゲル状に加工し制御コアを埋め込んだ、最新鋭、最強のフォースである。

スルーレーザー
地形をも貫通するレーザー

スプラッシュレーザー
地形に当たるとエネルギーを放出し、ダメージを与えるレーザー

カプセルレーザー
レーザー爆雷とも言うべきレーザーで、射出すると、その地点にとどまり一定時間レーザーを放出する。

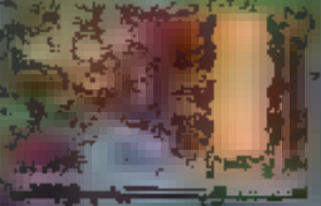
分離時　イオンリングを展開し、最強の攻撃力を誇る巨大な防御壁を形成する。（くわえてアクティブコントローラーが埋め込まれているため、任意の誘導が可能になった。　分離中、呼び戻し状態と切り離し状態が、合体・分離ボタンを押す度に切り替わる）



次元カタパルト

ファイアキャスクファクトリー

アンド・クリーチャー

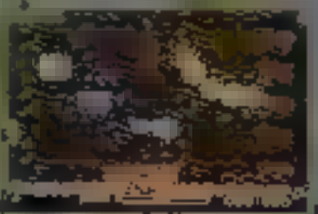


バイオニクス・ラボ

モード1 ドブゲラトプス アルビノ　モード2ーダース ゴマンダー
モード3 ライオ スイエアボ ンアサルト　モード4ーカ ンダ チマン

重金属回廊

界25次元



FROM BEYOND ～彼方より

バイド それは26世紀の人類が生み出した惑星級の星系内生態系破壊用兵器のなれのはてであった。

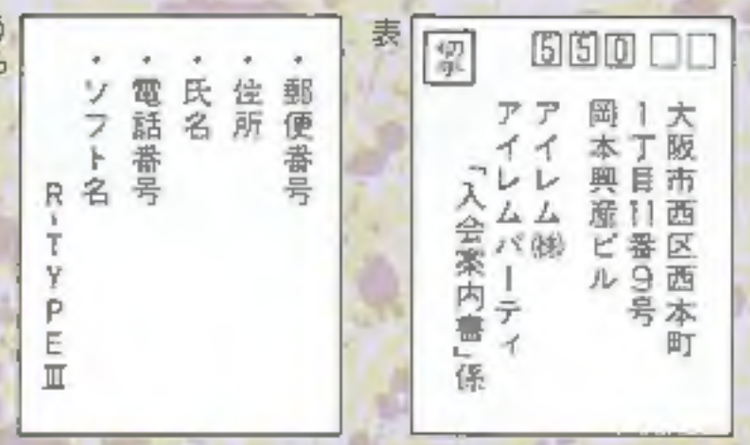
銀河系中心星域に確認された、明らかに意志を持った外宇宙生命体との接触に際して投入されたそれは、反応兵器や次元兵器と異なり空間を支配することなく、その効果範囲における全ての生態系を破壊する局地限定兵器であった。

月とほぼ同じ大きさのフレームの中に閉じ込められた、全てを浸蝕し、取り込み、進化し、自分以外の生命体を滅ぼすまで活動を続ける、人の手による絶対生物、それは、生体物理学、遺伝子工学、魔道力学までも応用して合成した人工の生ける悪魔。

これをバイパスバイドを利用して空間跳躍（ロー・Warp）させ、その母星の存在する星域に乗り込み全滅させる計画は完璧に進んでいるように見えた。だが、ほんの些細なミスによって“それ”は大爆発で発動した。158時間の[illegible]性ディ“それ”は次元消去タイプの兵器によって異次元の彼方へ吹き飛ばされ、一応の決着を見たのである。26世紀では。

だが、“それ”は生きていた。異次元の中で進化を続けながら胎動を繰り返す肉塊。気の遠くなるような彷徨の果て、時間を乗り越え、その力を発現したさきには、22世紀の地球があった。

●アイレムファンクラブ会員募集中●



●ゲームに関するお問い合わせは●

TEL06(534)1060 アイレム・パーティ係まで

受付時間：月～金（午後1:00～午後5:00）

●テレホンサービス●

札　幌(011)685-9131	東　京(03)3823-5130
名古屋(052)323-0270	大　阪 (06)535-0651
福　岡(092)475-9400	

アイレム株式会社

〒550 大阪市西区西本町1丁目11番9号
岡本興産ビル TEL06(535)4888

FOR SALE and USE IN JAPAN ONLY.
本品の輸出、使用営業及び賃貸を禁じます。

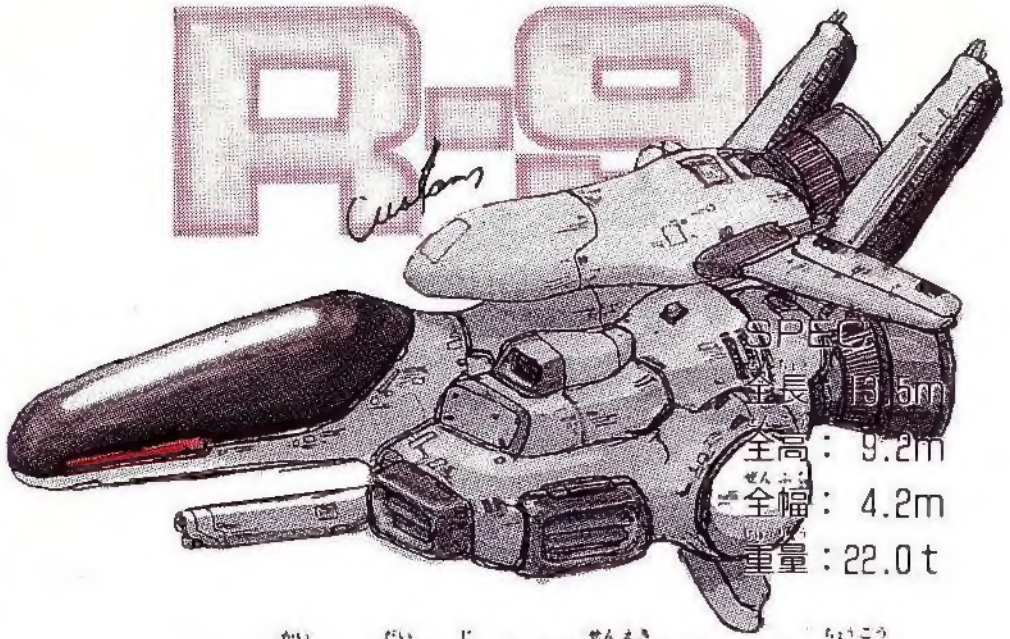
©1993 IREM CORP. MADE IN JAPAN.

禁無断転載

異次元空間に存在した、
全てを破壊し食い尽くす邪悪な
バイド帝国。その存在は人類
が送り出した“R－9大隊”
によって絶滅させられたはずだった。
しかしそれは生きていた。
別の次元に逃げ込み、失われ
た戦力を蓄えていたのだった。

逆襲が始まった。

憎悪に荒ぶるバイド帝国は
次元の壁を引き裂き、人類に
襲いかかったのである。
それに対し、人類は強化型
「R－9」を送り出した。
最強兵器「フォース」とともに……



R－9改は、第2次バイド戦役において、超高機動と極悪環境下における作戦行動を可能にするため、前戦役の戦闘データをもとに、素材レベルからの再設計がおこなわれ、R－9と名付けられているものの、それをはるかに凌ぐポテンシャルを秘めた怪物マシーンとなった。

この機体は作戦遂行を第一目的としたため、パイロットは四枝を切除され、実に脳だけになりながら、生体ユニット(UNIT UNCANNY)として搭載されたという非人道的な機体であった。(もちろん、このことは公開されておらず、後に軍の広報用に使用された写真は、前作戦時のR－9のものだったという)

ステージ

ステージ1 バイド前線基地

復活したバイドは宇宙遺跡にとりつき、それを前線基地へと改造してしまう。オートマトン（対侵入者自動攻撃機）が作動を始め、R－9改へ襲いかかる。

BOSS：実験素体　サブトム

ステージ2 空洞惑星

空洞惑星の地下水脈へと進行する。地下30km、超低温の水流に、バイドの遺伝子操作によって発狂した生態系が展開する。

BOSS：生体戦艦　バラカス

ステージ3 生産機械惑星

バイドによって占領された、自動兵器工房の林立する工業惑星へと向かう。そこに駐留する大型戦艦の群れに飛び込んだR－9改は、嵐のようなミサイルとレーザーの洗礼を受ける。

BOSS：大型浮遊砲台　コンベルト

ステージ4 建設中の要塞衛星

壁を生む虫、壁を食う虫、機械虫によって、また新たなバイドの基地が作られようとしている。狭まって行く視界の中で、戦いはクライマックスへ。

BOSS：自動生産ユニット　ブレンドア

そして、バイド帝星中枢へ、新生バイドが姿を現す。

MECHANIC INSPECTIONS

R-TYPE III

R-9 ARROW HEAD
from R-TYPE

ARMAMENT
- RAIL CANNON
- BEAM WAVE CANNON

R-11 PEACE MAKER
from GALLOP

ARMAMENT
- PLASMA VULCAN
- LOCK-ON LASER

UPPER Version

R-9 WAR CUSTOM HEAD
from R-TYPE II

ARMAMENT
- RAIL CANNON
- BEAM WAVE CANNON
- BEAM WAVE SCATTERING CANNON

R-9 (LEO)
from R-TYPE LEO

ARMAMENT
- RAIL CANNON

MASS PRODUCTION CUSTOM

R-9S STRIKE BOMMER
from R-TYPE III

ARMAMENT
- PLASMA NEEDLE
- BEAM WAVE CANNON
- BEAM WAVE SCATTERING CANNON

UPPER Version

R-9Ø RAGNA ROK
from R-TYPE III

ARMAMENT
- RAIL CANNON
- BEAM WAVE CANNON
- MEGA BEAM WAVE CANNON